

「未来を語ろう！
ワールドカフェ in かまくら」
実施報告書



平成25年3月
鎌倉市

目次

第1 「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」について	1
(1) 開催目的	1
(2) 実施方法	1
(3) 開催概要	2
第2 市民意見のまとめ	7
(1) まとめの方	7
(2) 市民意見のまとめ	8
(3) テキストマイニングを使用した市民意見のまとめ	33
第3 話合いの内容	40
(1) 各グループにおける話合いの内容	40
(2) 全体での意見共有	68
第4 参加者アンケートの結果について	72

(添付資料)

- 当日投影用パワーポイント資料

第1 「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」について

(1) 開催目的

次期基本計画の策定にあたり、鎌倉の魅力を再確認し、市民力・地域力が活きる将来のまちの姿について、市民の方々が考え、共有できる場を設定し、計画期間中に取り組む施策を導き出すために「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」を開催しました。

(2) 実施方法

「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」は、市民参画の手法である「ワールドカフェ」を参考として開催しました。

「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分け、度々メンバー交換をすることにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

この方法によると、さまざまな価値観をもつ人たちが集まるなかでも意見共有を行いやすいこと、また、限られた財源のなかでまちづくりをどのように行っていくのかというアイディア創出を期待することができます。そのため、今回の基本計画を策定するうえで優れた手法であると考えられるため、この方法を採用することとしました。

～ワールドカフェの特徴～

1. 4～5 人1 グループで決められたテーマについて話し合う。
2. 1 ラウンド 20～25 分程度で数ラウンド行う。
3. ラウンドごとに1 人を残してメンバーを交換する。
4. ラウンド中は、模造紙に思いついたことを自由に書く。
5. ラウンド後に話し合いの中で出たアイディアや気づき事項を参加者それぞれがふせんなどに書きこみ、その後全体で意見を集約する。

(3) 開催概要

ア 開催概要

ワールドカフェは次のとおり開催しました。

開催日 平成 24 (2012) 年 11 月 18 日 (日)

開催時間 午前 9 時 30 分～午後 3 時 40 分

開催場所 鎌倉女学院 2 階 大教室

参加者 69 人

テーマ 「将来のかまくらについて」

○議論のテーマはラウンドごとに設定

ラウンド 1 あなたが普段「鎌倉っていいな」と感じるのは
どんなところですか？

ラウンド 2 20 年後の鎌倉はどんなまちになっていてほしい
と思いますか？

ラウンド 3 ラウンド 2 で話し合ったようなまちになるために、
あなたができることとは、何でしょうか？

ラウンド 4 もし、今あなたが鎌倉の市長になったとしたら、
これだけは進めてきたい、大切にしたい取組は
何でしょうか？



イ 参加者について

ワールドカフェの参加者は、平成 24（2012）年 9 月に行われた「次期基本計画策定に向けた市民意識調査」の対象者 2,000 人のうちワールドカフェに参加することを希望された市民、及び自治・町内会から推薦のあった市民といたしました。参加承諾をいただいた市民は 85 人（調査票対象者 52 人、自治・町内会 33 人）、実際に当日参加いただいた市民は、69 人（調査票対象者 39 人、自治・町内会 30 人）でした。

○参加者の年齢層の分布（単位：人）

年齢層	参加人数
18～29 歳	0
30～39 歳	5
40～49 歳	5
50～59 歳	4
60～69 歳	20
70～79 歳	31
80～89 歳	3
90 歳以上	0
不明	1
合計	69

「未来を語ろう！
ワールドカフェ in かまくら」へのご招待

皆様ますますのご清栄のことと存じあげます。

この度は、「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」にお申し込みいただき、ありがとうございます。

下記のとおりご招待させていただきますので、ご確認の上ご参加いただきますよう、お願いいたします。

リラックスした雰囲気でお話ができる場を設けられるよう、準備してお待ちしております。

鎌 倉 市 長 松 尾 崇

<開催日時・場所>
日時 平成 24 年 11 月 18 日（日） 午前 9 時 30 分～午後 5 時
場所 鎌倉女学院 大教室
※地図は裏面にございます

<その他>
－当日は、昼食（お弁当）・飲み物を準備させていただきます。
－交通費相当として、1,000 円の謝礼をお支払させていただきます。
（口座への振り込みを予定しています）
－ワールドカフェの進め方等の詳細については、後日、改めてご案内させていただきます。

<問い合わせ先>
鎌倉市経営企画課 電話：0467-23-3000（内線 2214）
メールアドレス：keiki@city.kamakura.kanagawa.jp

ウ ワールドカフェの進め方

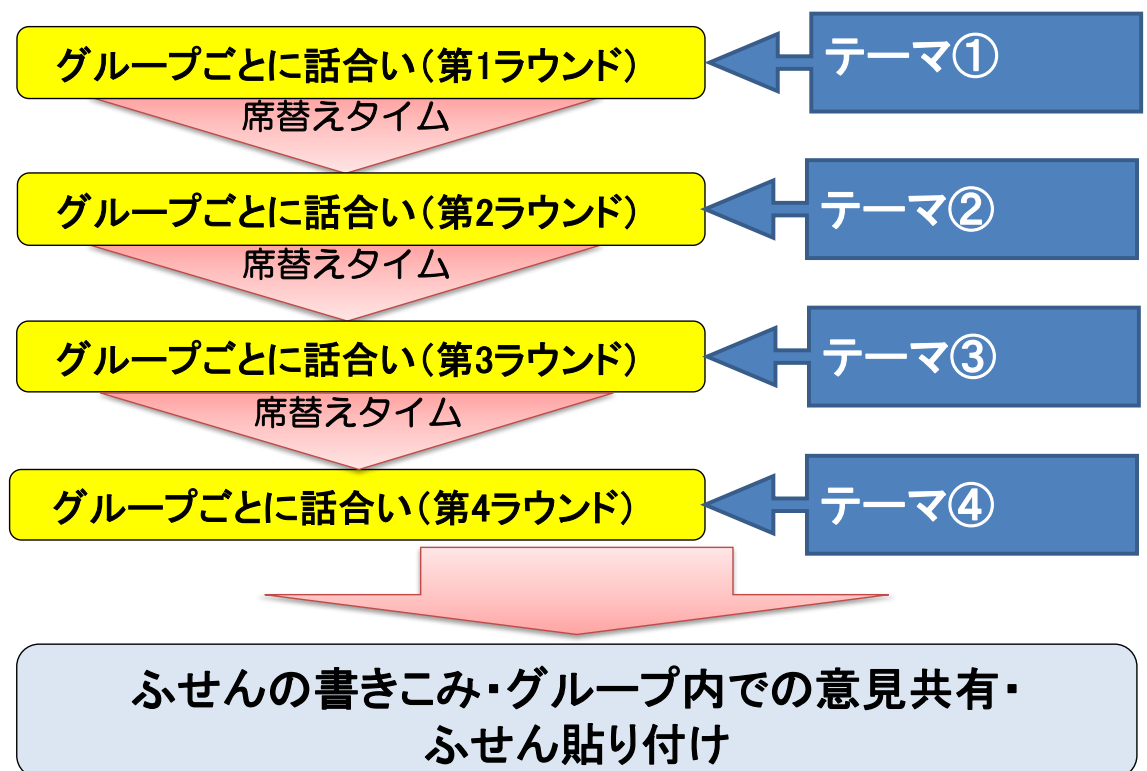
今回のワールドカフェでは、参加者4～5人で1つのグループを形成し、ラウンドごとに異なるテーマを話し合っていました。

1回のラウンドは20～25分程度で行い、各ラウンドの間には、席替えタイムとして、1人（テーブル・ホスト）を残して他の全員（旅人）に、自由に他のテーブルへ移っていただきました。第4ラウンドでは、旅人に第1ラウンドのテーブルに戻っていただきました。

ワールドカフェの開始及び第4ラウンドの開始に先立ち、参加者が鎌倉のまちづくりを考えるための情報提供として、市長から鎌倉の現状やこれまでの取組について説明を行いました。また、市民意識調査の結果の説明を行いました。

全ラウンド終了後、第4ラウンドで出たアイディアや全体の感想などをふせんに書いていただき、グループ内で感想を共有した後に、ふせんを模造紙に貼り付け、それを貼り出したうえで全体の意見共有を行いました。

図1 ワールドカフェの進め方



エ ワールドカフェのテーマ

今回のワールドカフェでは、以下のようにラウンドごとに異なるテーマを設けました。参加者の身近な経験から始まり、将来の理想やそれにあたって自分自身ができることを語っていただき、最後は、市長の目線から、これからの鎌倉に求められる取組について考えていただきました。

ラウンド1	あなたが普段「鎌倉っていいな」と感じるのはどんなところですか？
ラウンド2	20年後の鎌倉はどんなまちになってほしいと思いますか？
ラウンド3	ラウンド2で話し合ったようなまちになるために、あなたができることとは、何でしょうか？
ラウンド4	もし、今あなたが鎌倉の市長になったとしたら、これだけは進めてきたい、大切にしたい取組は何でしょうか？

オ スケジュール

今回のワールドカフェは、以下のスケジュールで行いました。

一日の流れ

時間	内容	時間	内容
09:30～	開会のあいさつ	12:25～	第3ラウンド
09:35～	鎌倉市の現状の説明	12:55～	市民意識調査結果の発表
09:45～	当日の進め方・ワールドカフェの位置づけについて	13:10～	第4ラウンド
09:55～	ワールドカフェの進め方の説明	13:50～	グループでの振り返りタイム
10:20～	第1ラウンド	14:30～	全体共有タイム①
10:55～	第2ラウンド	15:05～	全体共有タイム②
11:25～	お昼休憩	15:30～	閉会のあいさつ

カ 全体での意見共有方法

ラウンド後にふせんを書いていただく際は、1人5枚までとし、グループ内で意見交換をした後は、将来目標ごとに設けられたボードにふせんを貼り付けていただき、それを皆で共有したうえで意見発表を行いました。

ふせんには、ラウンド4で出たアイデアや全体を通じて印象に残った内容を書いていただきました。

図2 意見のまとめプロセス



キ 意見の活用方法

今回のワールドカフェでいただいた意見、アイデア、考え方については、次期基本計画の策定にあたり、計画の推進に向けた考え方やまちづくりの展望などに反映させていきます。

第2 市民意見のまとめ

(1) まとめの方

将来目標別に模造紙に貼り付けられたふせんを集計し、どのような分野の意見が多かったのかをまとめました。

どの分野に多くの書きこみが集まっているのか、また、市民意識調査の結果と比較して、どのような傾向があるのかについて検討しました。「その他」に分類されたものは、さらに内容別に整理を行い、分析を行いました。

なお、記載については、原則として原文のままとしています。

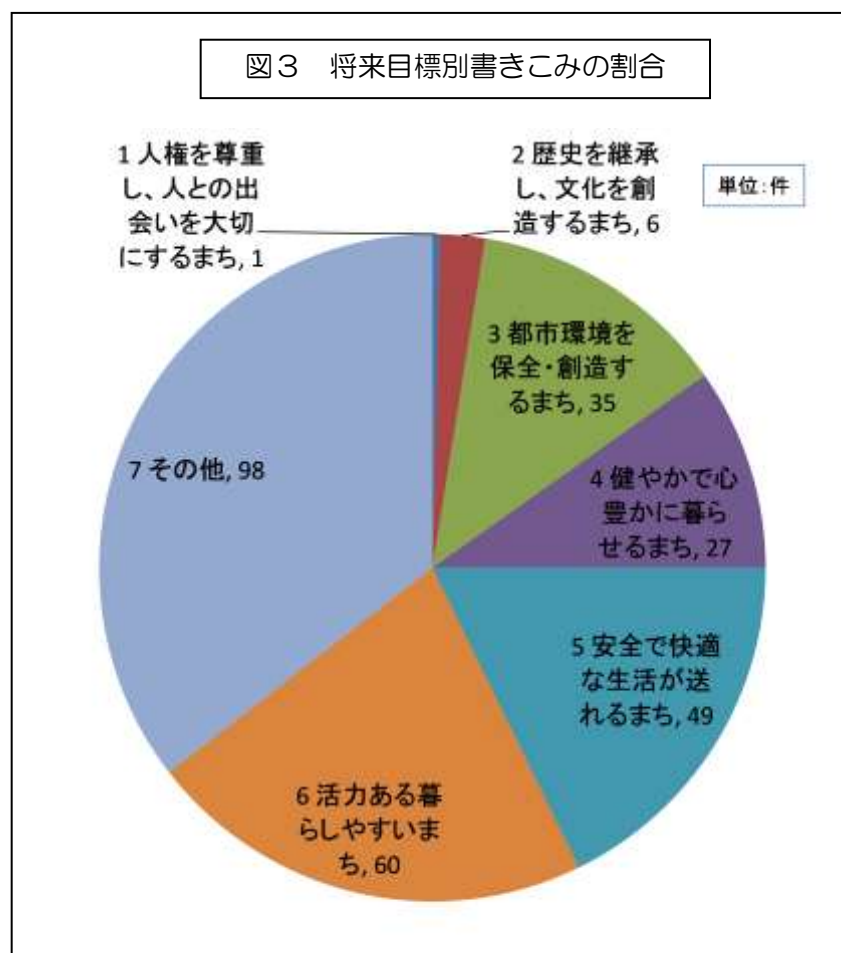
さらに、テキストマイニングを行い、統計的な視点からの分析を行いました。



(2) 市民意見のまとめ

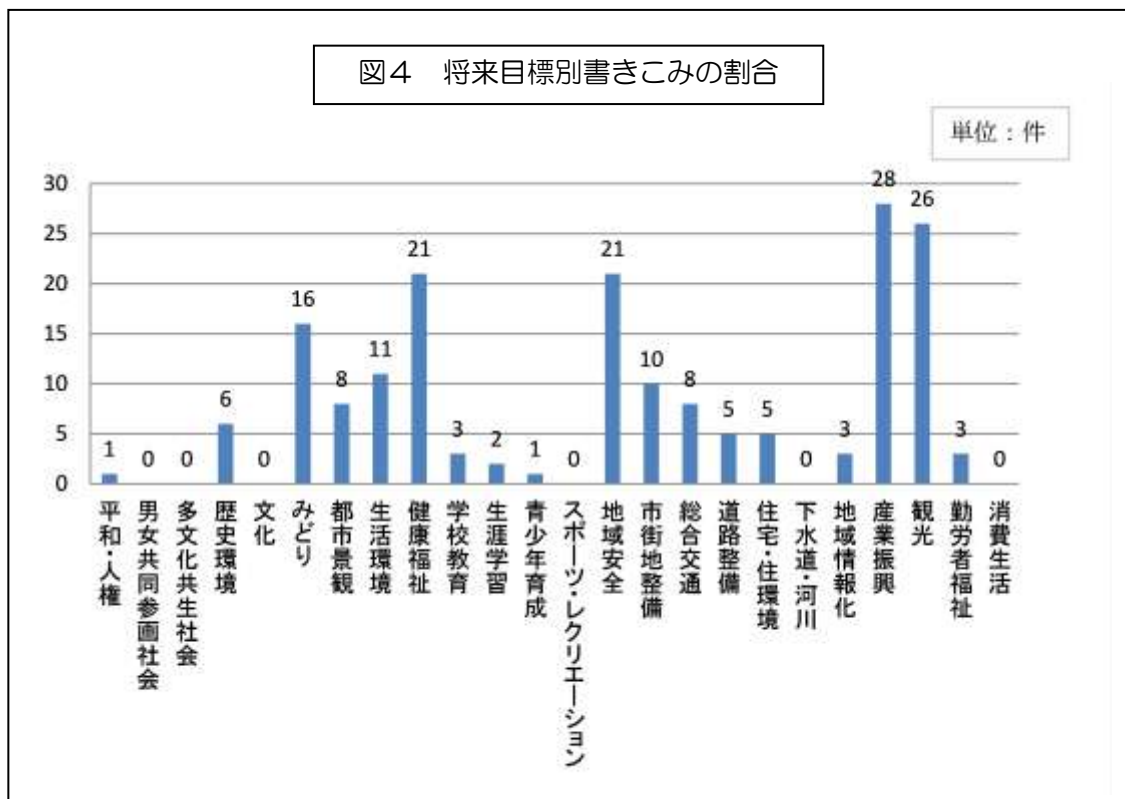
ア 全体概要

参加者が書きこんだふせんは、あわせて 178 件になりました。これらを本市の将来目標別に分類集計した結果、以下の図のとおりとなりました。なお、グラフ内の番号 1～6 は各将来目標に対応しており、番号の 7 はどの将来目標にも対応していない「その他」の意見となります。



将来目標5「安全で快適な生活が送れるまち」、将来目標6「活力ある暮らしやすいまち」に関する書きこみをした方が多く、将来目標1「人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち」、将来目標2「歴史を継承し、文化を創造するまち」に関する書きこみをした方は少ないことが分かります。

さらに、各将来目標の内訳である分野別にふせんを分類し、どのような傾向がみられるかを、以下のグラフで整理しました。

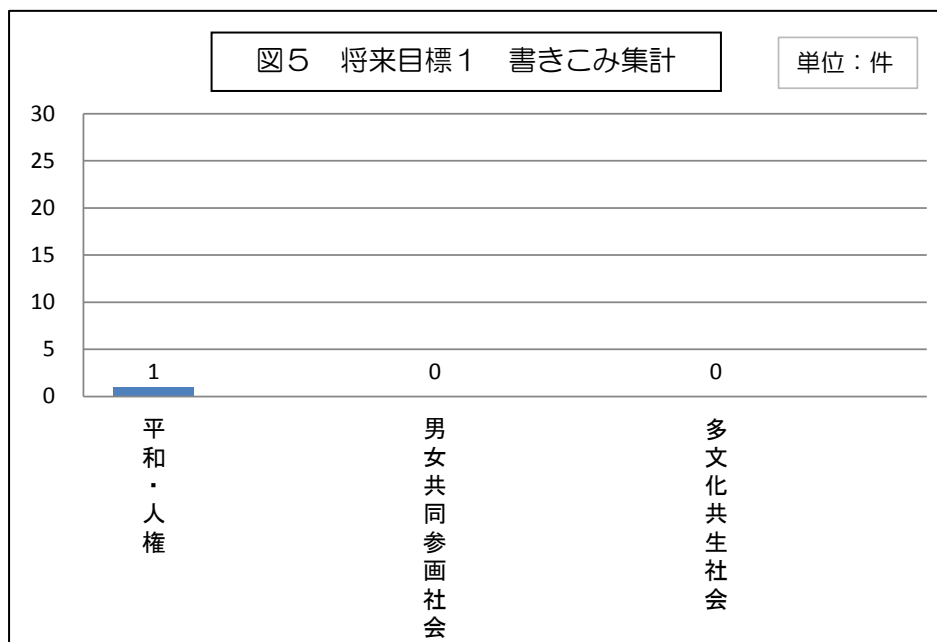


この結果、分野別には「産業振興」「観光」「健康福祉」「地域安全」の分野に関する書きこみが多いことが分かりました。その一方で、「男女共同参画社会」「多文化共生社会」「文化」「スポーツ・レクリエーション」「下水道・河川」「消費生活」については、書きこみがなく、分野によって市民の興味関心に大きな差があることが伺えます。

イ 将来目標別の集計分析

○将来目標1 人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち

将来目標1は、「平和・人権」「男女共同参画社会」「多文化共生社会」の3つの分野からなっています。



唯一の書きこみが「平和・人権」の分野にありますが、その内容は、「平和・人権のことを話したかった。」というものであり、ワールドカフェにおいて、こうしたテーマはほとんど話し合われなかったことが伺えます。

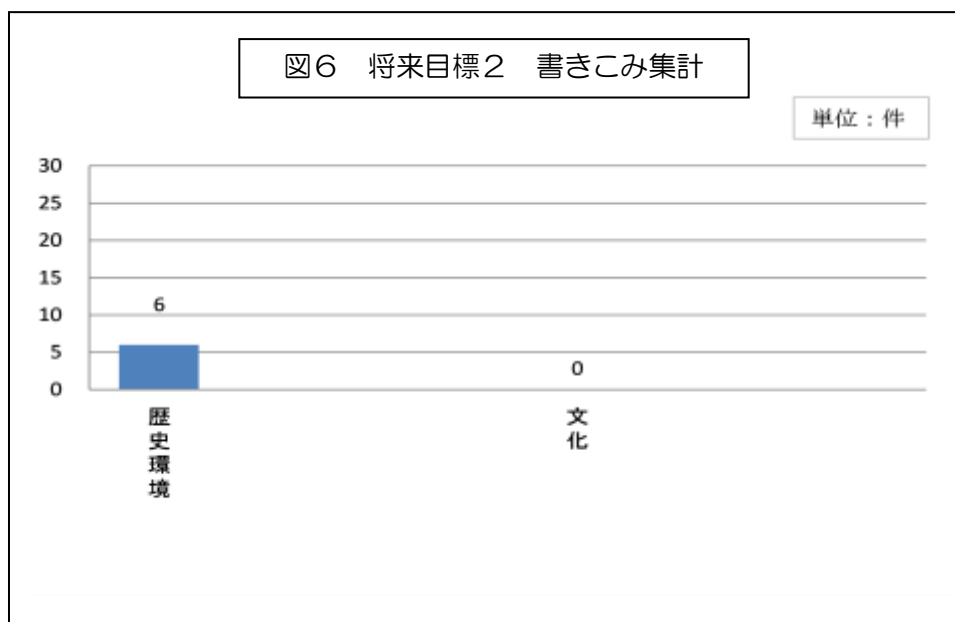
市民意識調査においても、これらの分野はいずれも重要度が低いという結果となっています。

○将来目標1 書きこみの内容

分野名	班	内容
平和・人権	N	平和・人権のことを話したかった。障害者や高齢者など互いに助け合う地域にしたい。

○将来目標2 歴史を継承し、文化を創造するまち

将来目標2は、「歴史環境」「文化」の2つの分野からなっています。



各分野の状況をみると、書きこみがされたふせんは全て「歴史環境」の分野のものでした。内容では、世界遺産に関する記述、登録に伴う文化財の保存維持などの書きこみが多くみられました。市民意識調査では、これらの歴史遺産保存に関する項目は重要度も満足度も高いものとなっていました。

「文化」については、市民意識調査で重要度が低いという結果となっていました。ワールドカフェでも書きこみがなく、関心度が低いことが伺われます。

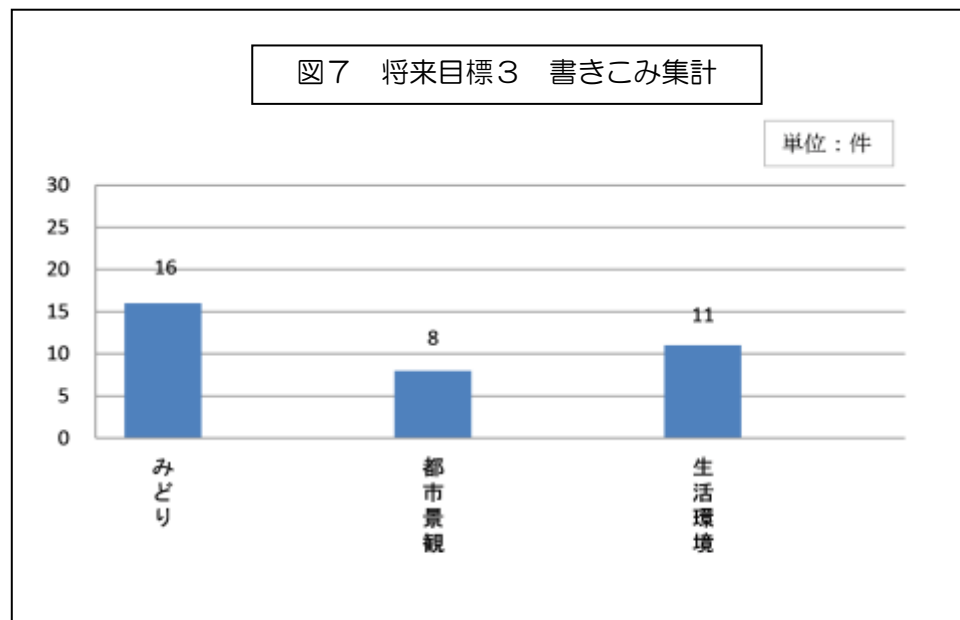
○将来目標2 書きこみの内容

分野名	班	内容
歴史環境	A	世界遺産のインフラ充実
歴史環境	B	世界遺産希望
歴史環境	B	世界遺産の登録で歴史ある鎌倉をいつまでも残したい
歴史環境	L	古いものはしっかり保存。しかし便利さ、快適さも必要に応じ追求（乱開発は厳禁！）。
歴史環境	N	文化財の保存研究・情報の共有化

分野名	班	内容
歴史環境	○	日本史のなかでもエポックとなった武家政治がスタートしたまちであり、歴史文化ともに誇りであると同時に後世に対しての責任もある。短期・中期だけでなく、500～1,000 年を見通した超長期ビジョンも大切と思った。

○将来目標3 都市環境を保全・創造するまち

将来目標3は「みどり」「都市景観」「生活環境」の3つの分野からなっています。



内訳をみると、各分野でそれぞれ書きこみがありました。これら分野については、市民意識調査で、いずれも重要度が高い施策となっており、その結果からも関心の高さが伺えます。

「みどり」については自然の保持を訴える書きこみが多くみられます。「都市景観」については景観規制に関すること、「生活環境」についてはごみやエコロジーに関する書きこみがみられました。

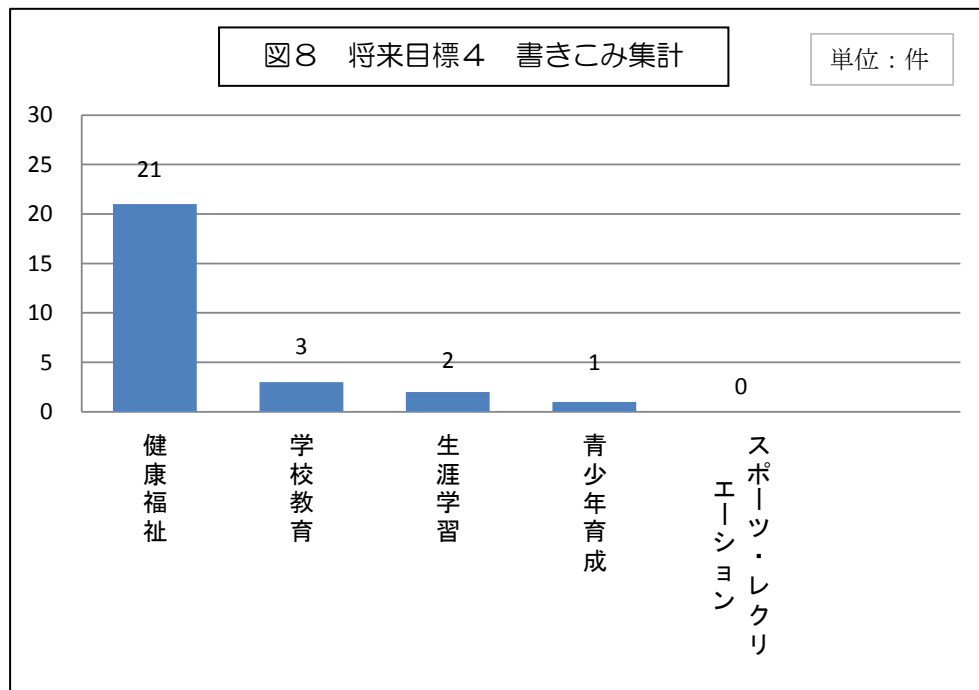
○将来目標3 書きこみの内容

分野名	班	内容
みどり	A	緑を守る
みどり	B	鎌倉の山に緑を残す
みどり	C	山と海のバランス 観光地 いつまでも保っていける行政を
みどり	C	みどりや生活環境を保持して健康的なまちづくりを行う
みどり	C	公園の増加整備
みどり	D	自然と人為の関わり 身近な自然
みどり	D	自然整備への参加を通し地域を意識
みどり	D	自然環境 保全・整備
みどり	F	緑・山・海・空気
みどり	G	緑の保全 ボランティア活動をもっと活発化してみんなで守る
みどり	H	ジャングル状の緑地を整備して、防災などに活用したい
みどり	H	行政が自然破壊に手を貸さないよう、開発許可は慎重に
みどり	K	鎌倉駅前に自然を守る募金箱を置く
みどり	L	土地の活用に関しては十分考えること
みどり	L	自然環境の保存 海岸の景観 みどりの植樹
みどり	P	自然をそのままに
都市景観	B	ヨーロッパのような美しいまちなみづくり→一度は住みたい“鎌倉”→ブランド強化
都市景観	D	山海街の色 地域の特色それらの調和
都市景観	F	電柱や看板のない商店街
都市景観	F	調和のあるまちづくり
都市景観	I	あいさつするまち、花やベランダや通りを飾る
都市景観	J	モルールを廃止（景観保持）
都市景観	J	“不便で” 豊かなまちづくり ーより強い ー景観規制 ー車両規制（IT 活用）
都市景観	K	看板の規制をして美しいまちづくりをする

分野名	班	内容
生活環境	A	子どものために！食品放射能測定所を→20 年後の健康？
生活環境	B	自然との共存 自然と人が調和する環境に優しいまちづくり（エコ）
生活環境	C	7 年後に市内からディーゼル・ガソリン車を追放する
生活環境	F	ゴミ分別日本一
生活環境	G	廃棄物の発生抑制 量り売りを促進する。大型ボトルで 5 回使う（ドイツの例）、酒、しょうゆ等すでに量り売り。ボトルにシールを張る 5 枚。
生活環境	H	ゴミ処理工場をきちんと建て直す
生活環境	I	鎌倉の美化景観を・・・の意味で各戸、ベランダ道路側に花を植え、通る人々の目を楽しませる
生活環境	M	エコと古き良き伝統との共存
生活環境	N	税収が減るのは必要。今の生活を互いにがまんしても、鎌倉の現在の環境は維持したい。
生活環境	P	生活環境の再生処理
生活環境	不明	ゴミ

○将来目標4 健やかで心豊かに暮らせるまち

将来目標4は「健康福祉」「学校教育」「生涯教育」「青少年育成」「スポーツ・レクリエーション」の5つの分野からなっています。



内訳をみると、「健康福祉」に集中しており、その他の分野に関する書きこみが少なくなっています。

「健康福祉」では、高齢者に関する取組や保育所の充実に関する書きこみが多くみられました。この分野については市民意識調査で重要度が高いにも関わらず、満足度が低い分野となっており、今回のワールドカフェでも意見が多かったことから、市民が重点的に取り組んで欲しいと考えていることが伺えます。

「学校教育」分野については、市民意識調査では重要度が高い分野となっていました。今回のワールドカフェでは書きこみがあまりみられませんでした。ワールドカフェのような対話の形式では、少子高齢社会に向けた対策として、保育分野に意識が向くことが、こうした結果となった要因として考えられます。

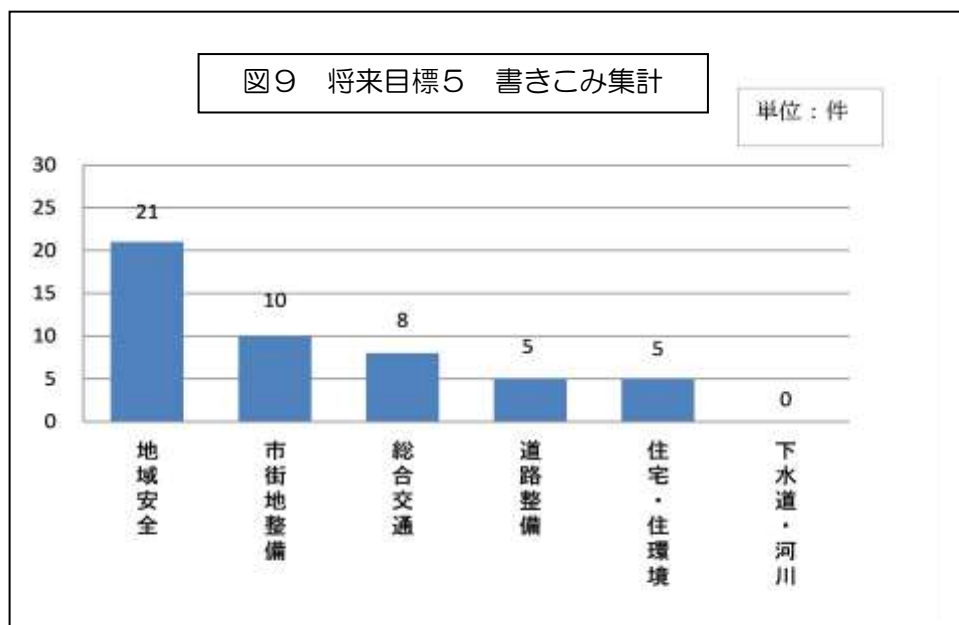
○将来目標4 書きこみの内容

分野名	班	内容
健康福祉	C	年寄りが住みやすいまち
健康福祉	C	託児所、公立幼稚園の整備
健康福祉	C	高齢者と子ども達との交流を活発に
健康福祉	E	老人の人材登録、ボランティア活動 有能な人材経験のある老人力の信用但し、ボランティア
健康福祉	E	保育所を充実させる ・保育時間を長くする ・保育所を増やす ・保育所の受入れ人数を増やす など
健康福祉	E	子育てと仕事の両立のための保育施設
健康福祉	E	高齢者の能力の活用 人材登録
健康福祉	E	(中学の空き教室) デイサービスと保育所を隣合わせでつくり空き教室の利用を図る。
健康福祉	G	日本一子育てしやすい鎌倉にして(人口増)
健康福祉	G	子育て支援→良い環境を作って子育て世代に請求 →“鎌倉っ子”を増やす
健康福祉	G	健康福祉
健康福祉	G	健康の維持 健診の内容の見直しを年2回は(対高齢75才以上など)
健康福祉	J	高齢者こそ鎌倉の資産 ー名士、立派な人のまち ーマナー教室/マナーのまち ー若者・若手経営者との交流 ー子育てサポート隊
健康福祉	J	鎌倉で老若男女の弱者が安心して暮らせる施設をつくる＝高齢者の知恵を拝借 (物納された家・土地) (利用してエコ住宅にし、もちろん対策しっかりとする)
健康福祉	M	鎌倉在住のため子ども達のため20年後は大人になるのでその子ども達が豊かに暮らせるようにしてほしい
健康福祉	N	社会参加の機会を増進、福祉(守られる)から参加で

分野名	班	内容
健康福祉	N	子育て環境づくり 地域交流拡大保育・教育・福祉を地域センターで
健康福祉	N	高齢者が地域に出られる場の提供
健康福祉	P	日本有数の教育と保育所設立
健康福祉	P	お産のできる病院
健康福祉	不明	・ 保育所の整備 ・ 道徳の管理
学校教育	E	道徳教育をしっかりとやる！自分勝手な人間をつくらないため。
学校教育	G	若い人が安心して住みやすいまちづくり特に学校環境
学校教育	不明	教育の整備
生涯学習	L	教育とともに教養を向上させる
生涯学習	N	地域に人材バンクをつくり、学校・地域の学びの拡大へ
青少年育成	C	青少年育成（子ども）のために指導、相談を地元住民と行える施設の充実を行う

○将来目標5 安全で快適な生活が送れるまち

将来目標5は「地域安全」「市街地整備」「総合交通」「道路整備」「住宅・住環境」「下水道・河川」の6つの分野からなっています。



分野別にみると、地域安全が最も多く書きこみがされており、ついで「市街地整備」「総合交通」とインフラ関係の分野に関する書きこみが多くみられました。一方、下水道・河川については、書きこみがみられない結果になりました。

「地域安全」が高くなっているのは、東日本大震災を受け、防災、津波対策に特に関心が集まっている結果と考えられます。この分野の書きこみでは、ハード面での対策のほか、地域の連携を強めるといったソフト面での取組に関する書きこみがありました。これらの分野は、市民意識調査でも重要度が高く、満足度が低いという結果となっており、市民が重点的に取り組んで欲しいと考えていることが伺えます。

「市街地整備」に関する書きこみも多くみられました。特に、野村総研跡地など、具体的な地域に関する書きこみがみられました。

「住宅・住環境」の分野では、空き家を若い人やベンチャー企業誘致のために活用するべきという意見がみられました。

「下水道・河川」の分野は、書きこみがありませんでした。下水道については、整備が進んだことが、この分野に関心が集まらなかった要因として考えられます。

○将来目標5 書きこみの内容

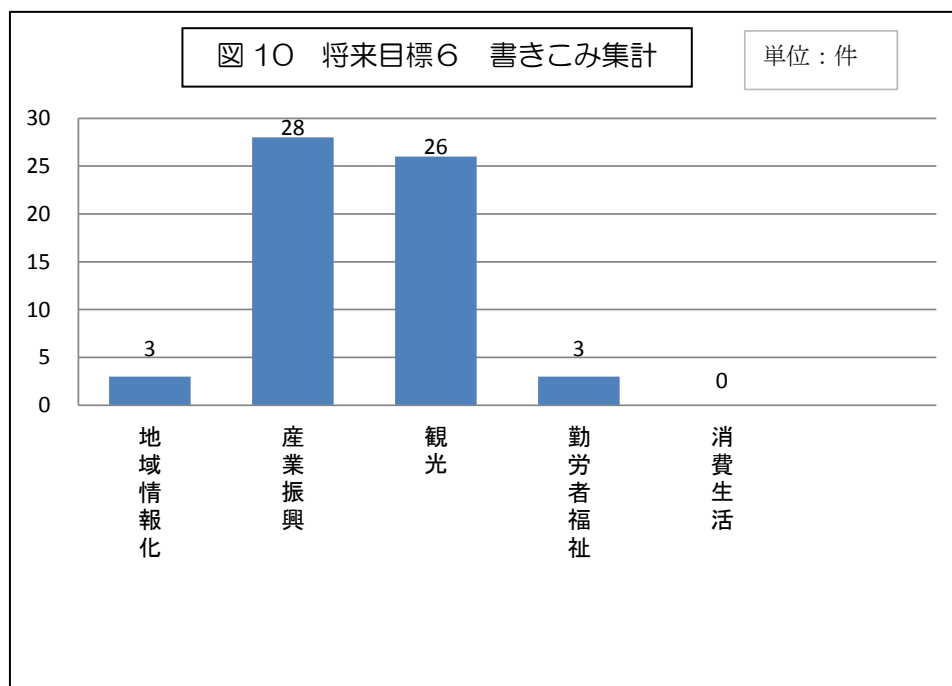
分野名	班	内容
地域安全	B	防災対策の強化 大津波に備え 1 日も早く防災対策を進める
地域安全	E	(自治会の強化) 隣近所との付き合い(連帯)を含め、災害時の対応をキメ細かくする
地域安全	E	(津波避難) 周辺の山への避難路を早く、多数整備する
地域安全	G	地域安全
地域安全	G	危険な崖、土地開発しないで
地域安全	H	消防本部の移転 今の場所では、災害時に機能不全になる
地域安全	H	消火器を町会各組ごとに置けるように。消防本部を野村跡地にもってきては？
地域安全	H	災害に備え、地域のコミュニケーションを活性化させる
地域安全	H	災害時の各種備蓄は 5 日～1 週間分が必要
地域安全	I	避難場所ビル契約者や有志(高台の家)と契約する
地域安全	I	津波対策・・・契約したビルを使用して身の安全を守る
地域安全	K	防災関係に力を入れたい
地域安全	L	防災のこと
地域安全	N	防災訓練を鎌倉市全域で行いたい。訓練していないことは被災時に実行できない教訓。
地域安全	N	地域防災の話題が良かった。地域のコミュニケーションが必要と実感した。
地域安全	N	地域安全への取組
地域安全	N	災害時の連携を学校・病院・消防・自治町内会であらかじめつくり、役割を明確にしておく
地域安全	N	個人情報と命の安全との兼ねあい
地域安全	N	3.11 後の予防について連携を縦横断的につくり出し、コミュニケーションの活性化につなげる
地域安全	P	安心・安全なまちづくり ・震災にそなえる ・犯罪の予防

分野名	班	内容
地域安全	不明	安全
市街地整備	C	大船に 24 時間タウンを創出、横浜栄区と共同開発へ
市街地整備	F	野村総研の土地の再検討
市街地整備	F	野村総研の土地再検討
市街地整備	F	野村総研の土地 再検討
市街地整備	F	野村総研土地再検討
市街地整備	I	野村総研跡地利用として教育施設をつくり交通する 関としてモルールを付ける（大船工場跡の利用も含め て）総合福祉センター
市街地整備	I	野村総研跡地への大学誘致、または、鎌倉武家屋敷や 民家の再現、モルールを足とする
市街地整備	I	大船地域を特別商業地区として、建物の高さ制限を撤 廃、宿泊施設をつくる
市街地整備	J	鎌倉で暮らし仕事をするため、野村総研跡地に IT 企 業を誘致して（環境・景観にふさわしい建物宿泊施設 を備え人を呼びこむ）
市街地整備	L	中心部（11 幡宮）と宅地部・大船地区両方のバラン スとれた維持・発展
総合交通	C	交通体系（パーク＆ライド etc.）を検討し、観光中心 から安全・安心・潤滑 生活づくりを行う
総合交通	C	公共交通機関の整備
総合交通	C	大船一逗子間 JR の地下化
総合交通	E	鎌倉市内の交通問題 土・日曜日は観光の車は乗入れ させない
総合交通	I	旧鎌倉地区外に駐車場（有料）を整備し交通規制をす る 市内には公共交通する関を利用
総合交通	I	観光客による渋滞緩和のため正月規制のような市内 への車乗り入れ制限をゴールデンウィーク・盆時期の 導入
総合交通	I	鎌倉市内はタクシー二輪車以外は進入禁止（地域住民 も）トロリーか電気自動車・バス移動
総合交通	P	鎌倉老人の施設は交通の便の良いところに 現在車 で行けない
道路整備	C	私道を市道にしてほしい

分野名	班	内容
道路整備	F	市長の話していた電柱埋設計画、その資金捻出方法の推進
道路整備	K	電柱の地中下等鎌倉らしい景観をつくる
道路整備	O	交通整理 自転車道のないところでは教育を徹底する。
道路整備	P	道路の整備、バスが通れない
住宅・住環境	C	緑を大切にしながら過疎の住宅地を有効利用し活性化
住宅・住環境	H	若い人が住めるよう、規制を少なくする（町内住民協定含む）
住宅・住環境	O	世代間同居の推奨 ・ 鎌倉の土地が高いし教養醸成の場になる ・ 消費が増えて税収期待できる
住宅・住環境	P	高齢により、火の消えたところ、町内が楽しさがない
住宅・住環境	不明	空地・空き家の利用性

○将来目標6 活力ある暮らしやすいまち

将来目標6は「地域情報化」「産業振興」「観光」「勤労者福祉」「消費生活」の5つの分野からなっています。



内訳をみると、ほとんどが、「観光」と「産業振興」に集まっています。

両者の書きこみ内容に共通することとしては、市の収入を上げるための方策を提案している書きこみが多いことが挙げられます。「観光」では、観光を基盤として人の誘致を呼びかける書きこみや、財政状況再建の手段として考えている意見などがありました。

また、「産業振興」では、プリペイド・カードの導入によるまちの活性化など、観光に関連した書きこみ、企業誘致に関する書きこみが多くみられました。

この分野については、市民意識調査では、重要度が低いという結果が出ていましたが、今回のワールドカフェでは、最も多くの書きこみが集まったことが特徴的となっています。

生活者としての視点では観光客が賑わっていることなどについて不利益を感じている方が多い一方で、これからの鎌倉のまちづくりのためには観光や産業振興に取り組むべきであると考えている方が多いことが伺えます。

○将来目標6 書きこみの内容

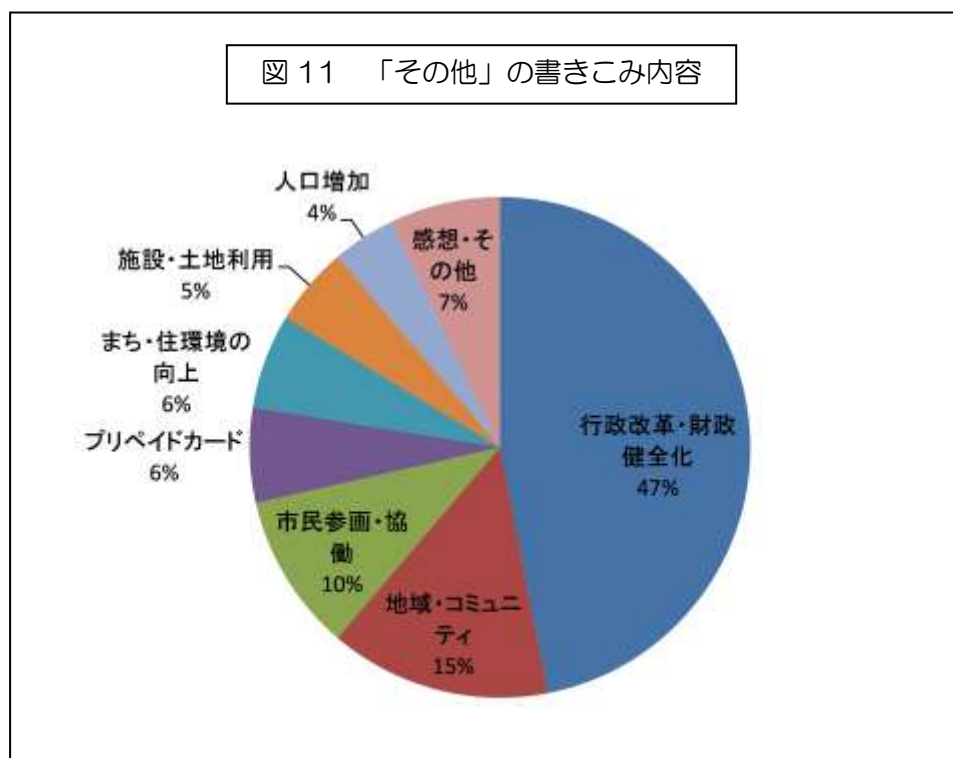
分野名	班	内容
地域情報化	N	コミュニケーションとプライバシー保護の難しさを再認識したが、安全確保を最重視したい
地域情報化	N	鎌倉市の取組、各町内会の取組が分かるように町内会のインターネットのホームページを創り市の HP とリンクしてコミュニケーションを共有する
地域情報化	O	地域情報化 ※市職員の個人情報保護士の育成 ※BCP BCM DR を作成すること
産業振興	A	市内での利用可能プリペイド・カード普及
産業振興	C	大船に巨大ショッピングモール、ファッション若者がくるまちに
産業振興	D	遊休地の活用（IT 企業をあつめる）→収入増加
産業振興	D	鎌倉ブランドをたくさんつくる（分野毎）
産業振興	D	会社が少ないから増やして、企業から税金をとる。鎌倉市と隣の市に近い交通の良いところ
産業振興	D	景観を残して産業の振興・誘致をはかる。増収をはかる
産業振興	E	雇用の確保 IT 産業 etc.誘致 鎌倉ブランド
産業振興	E	企業の誘致（IT・工場とか）をする
産業振興	G	地産地消 職員費
産業振興	G	地元業者をうるおす市民の暮らし方。行政も応援してください
産業振興	H	知名度 文化都市イメージの有効利用企業誘致
産業振興	H	税収アップ 工場ではなく IT 企業など積極的に誘致する
産業振興	H	空地・空家（野村研跡地）等を活用して IT 産業を誘致
産業振興	H	IT など環境破壊しない。立化都市にひかれた企業の積極誘致。
産業振興	H	IT など若者の秘策 機会の招致
産業振興	I	旧鎌倉市街地を取り巻く外側のまちの開発をする。商業、企業を招致。宿泊施設をつくる。
産業振興	I	企業の招致
産業振興	J	野村総研跡を「緑の中で仕事する IT ベンチャー拠点」にーそのためにルール??もあり？

分野名	班	内容
産業振興	J	鎌倉に住むから鎌倉「仕事する」に ー最先端（IT 等） ー豊かな自然の中で人間らしく
産業振興	J	鎌倉で手づくり'野菜'を作ろう
産業振興	K	税收アップ 空ビル、空き地の有効活用 ベンチャー企業（本社）誘致
産業振興	K	鎌倉にふさわしい企業を誘致する
産業振興	L	市内での経費は（役所を含めて）市内の業者を使う
産業振興	L	観光客に観光名所・飲食店等で使用できるプリペイド・カードを使用し市内で使用してもらうようにする。 プリペイド・カードに観光税を加算すれば良いのでは？
産業振興	O	古民家を生かした起業、市民も生活の仕方を工夫して税金を無駄にしない
産業振興	P	企業融合
産業振興	P	観光・ビジネス居住環境のバランスある発展をめざす
産業振興	P	鎌倉の自然に調和するように IT ほか知的産業・開発研究拠点の積極的誘致をはかり、税收、雇用の増加をはかる
観光	A	宿泊所ペンション etc.をつくる
観光	A	サーフィン利用枠の新設
観光	A	鎌倉特産品の開発（ポスト鳩サブレ）
観光	A	海水浴利用枠の新設
観光	B	鎌倉（まち）での訪問者への明るい話しかけ（道を聞かれたとき）
観光	B	「観光立市」（若宮大路、小町通り etc.の恒久歩行者天国、電気自動車のみ進入可、etc.）
観光	C	仲通りのような商店を増やす
観光	C	外国人観光客用トイレ・道標、歴史表示を3～4ヶ国語で
観光	D	お寺と自然を生かして楽しい企画を毎月（日替わり？）用意する。若い人でも楽しいファンづくりしてディズニー的にやってみる。
観光	E	観光立市 鎌倉の基本

分野名	班	内容
観光	F	海、山、寺（奈良や京都には海がない）景色の良いまちに観光客がステイできる施設を
観光	H	外鎌倉の活用と整備
観光	H	海の積極利用江ノ島～葉山～横浜とのクルーズ
観光	H	世界遺産を進めるため、有料トイレを整備する（清潔なトイレが少ない）
観光	I	海から観光客を呼びこむ。足はパークアンドライド活用。
観光	J	観光収入増を図るため宿泊施設を増やす
観光	K	旧市街カマクラは、観光都市でいく！！
観光	K	お金をとるだけでなく、満足して帰ってもらう
観光	K	あらゆる方法で観光客よりお金をとる
観光	L	防災を公式化した、観光立地を行う
観光	L	観光地としてのアピールを強化する
観光	L	観光立市をめざす 世界遺産登録を契機に・・・
観光	L	集まった観光税で、まちの景観保存費用を出し、また観光客に来てもらって金を落としてもらおう！
観光	O	観光都市として生きるためには・・・規制と市民の同意と工夫
観光	P	現在の観光を保持する。市民の協力をしてもらう
観光	P	観光を産業として最高の水準とするため、投資導入と鎌倉市民高齢者を事業として多数参加させる。給与払う。健康のためにも。
勤労者福祉	E	鎌倉地域内での働く場所雇用
勤労者福祉	H	若い人増やす。市内に若い人がまともに働ける場をつくる。
勤労者福祉	H	若い人が働ける場をつくる

○その他の書きこみについて

「その他」には、各将来目標には、直接関連しない事項を分類しています。記載された内容を分類し、集計したところ、書きこみのあった内容の割合は以下のとおりとなりました。



最も書きこみが多かったのは、「行政改革・財政健全化」に関する内容で、その他に分類したもののうち、およそ半数になりました。新たな財源の確保、支出の削減といったような内容が多く書かれており、参加者の関心の高さが伺えます。

また、「地域・コミュニティ」「市民参画・協働」といった、市民力・地域力を生かし、市民同士で支え合うことなどを大切にしたいという内容の書きこみも多く見受けられました。

そのほか、市長が本市の現状や取組を説明するなかで触れた「プリペイド・カード」、施設の共有などの「施設・土地利用」、少子高齢社会に対応した「人口増加」などの書きこみがみられました。

○書きこみの内容

「その他」に位置づけられた書きこみの内容は以下のとおりです。

・行政改革・財政健全化

分野名	班	内容
その他	A	神社仏閣の財政状況の経理開示
その他	A	市民としての自治への参加 とくに神社、仏閣の情報開示する
その他	A	寺社法人の応分負担
その他	B	役所の構造改革をもっと進め、すべての効率化をはかってもらいたい
その他	B	収入の確保（市財源）
その他	B	寺社の入館料申請
その他	B	寺社からの何かしらの収入増で安定的財務基盤の確立（世界遺産税 etc.）
その他	B	財政確保
その他	B	財源確保が第1 鎌倉は観光収入が多い。神社、仏閣からも税をとるべく検討する
その他	B	海水浴場の入場税申請
その他	B	鎌倉市居住の職員採用
その他	C	社寺の整理 古い鎌倉 新しい鎌倉の共存
その他	C	市の収入が得られる方策を今後の税収をみすえて考える
その他	C	ボランティア団体シルバー人材を活用し人件費をうかす
その他	C	節度ある行財政運営を健全にするには、職員数ばかりでなく、議員数も減少させる
その他	D	コスト意識をもっと高める（ムダの削減）
その他	D	法人の応分負担 寺社等
その他	E	（市役所改革）課を大きく効率化 セクションの垣根をとりはらい、柔軟な対応ができるようにする
その他	E	寺社から税金をとる手段を考える！市街化調整地区で事業として使っている土地を宅地並に課税する。税収を増す

分野名	班	内容
その他	E	財政基盤 収入を増すために公益事業もするべきである
その他	F	市民を支えた長期計画検討委員会の設置
その他	F	今回のワールドカフェを、今後に生かすべく、市民を交えた長期計画検討委員会の設置を是非！
その他	F	市の職員スーパービジネスマン目指せ！
その他	F	市職員 市民のスーパービジネスマン
その他	F	行政業務のアウトソーシング
その他	F	市の職員と市民も経営の意識を持ってスーパービジネスマンをめざす
その他	G	行政のスリム化、合理化、効率化
その他	I	経費削減と市収入の確保
その他	K	重要性の低い行政サービスを廃止し、高いサービスに力を入れる
その他	K	職員削減総合職（何でもできる人）を養う
その他	L	世界遺産へ登録されたら、その効果による見込み利益を開示のうえで市民に協力もしてもらって登録の維持に努める。とにかく鎌倉に金が落ちるように！！
その他	L	市の職員は 70%まで鎌倉市民で固める
その他	L	市の職員さんは、なるべく市民で、出来れば過半数を
その他	L	土日祝に鎌倉市内で電車やバス等の各交通機関でPASMO や SUICA を通すときに観光税をとる。市民からはとらない。→100 円とかで良い。
その他	L	寺社から税金をとれば良い。寺社は観光客からお金をいただければ良い。
その他	L	税収の道を拡大する ・ 対寺社 ・ 対観光客
その他	L	寺社からの徴税、彼らが減収せぬよう配慮して、“市”としてもいただく
その他	L	財政の確保を考えること

分野名	班	内容
その他	M	もし、市長になったら ・市の財政削減など必要項目必須 ・職員削減など（必要な人員だけ） ・市職員は馬鹿ではない 必然的に自浄作用が働き→健全になる
その他	O	中長期的（超長期的）計画で、ハッキリ鎌倉はこうあるべきと方針を立てる
その他	P	寺院からの税を徴収する
その他	P	観光税徴収による財源確保（他にこれといった産業がない鎌倉市としては寺社と共存共栄のため必須）
その他	不明	過剰な行政サービスは求めない
その他	不明	お寺から税をとる
その他	不明	市長の公用車 公費の使用に枠をはめない。必要なものは有効に くだらない市民の意見に惑わされるな。
その他	不明	市の職員も市民もビジネスマンたれ

・地域・コミュニティ

分野名	班	内容
その他	A	地域のもつ多面性、多様性、多様能のミックスの工夫・検討
その他	A	地域の人々の地域への参加→良いまちになるため
その他	B	町内会自治会の活性化により隣人との絆を深める助け合い
その他	C	どの世代の方も満足できる生活を送ることのできる地域に
その他	C	地域貢献ができる機会づくり
その他	G	地域福祉の推進
その他	H	地域・近所で助け合える関係づくり
その他	N	地域のコミュニティづくりを進める
その他	N	地域（自治会等）で全ての住民の生活づくりを防災・安全・子育て・労働・文化
その他	N	小中高校、大学と自治町内会のコミュニケーションを良くして子ども達とともに歩む持続可能な社会を実現させる

分野名	班	内容
その他	N	自分達の生活を良くするためにまずは、自分の住んでいる地域から始める—という意見があった、当然
その他	O	地域安全と地域コミュニティのあり方の相関図を作成する。※市民意識調査結果 重要度の高低にてみえる
その他	O	住民が連帯協力できることを増やす。住民力向上（外からの人がまた訪ねたくなるような）。
その他	P	人と人とのふれあいを大切にする。地域力・防犯パトロール・人と人とのふれあい、あいさつ、まちの掃除。

・市民参画・協働

分野名	班	内容
その他	C	市民（住民）の参画・協働を推進させ、生活環境充実させ住みよいまちづくりを行う
その他	D	できるだけ協力しましょう
その他	E	自治会・町内会と市との関係役割
その他	G	市民一人ひとりがもっと鎌倉を知ること、好きになること
その他	G	市民と行政の対話を多くしてください
その他	G	市民自治
その他	G	市民がもっと気軽に行政について語りあえる場を増やす
その他	H	市からの要請にできる限り協力する
その他	H	鎌倉に住む幸福を実感して、小さいことでも実践する
その他	O	政策決定するのは長・議会だが、市民不在の政治ではなく市民の声をアンケート等を行い反映してほしい

・プリペイド・カード

分野名	班	内容
その他	A	プリペイのもつ価値をそれに与えるインセンティブ
その他	A	駅でのプリペイド・カード
その他	F	地下ケーブル計画の資金集めのスイカポイントのアイデアは Good!!
その他	F	収入方法に1つ 地下ケーブル用（市長発言）ポイント集めはグー！！
その他	L	古都（観光）保存税の徴収→プリペイド・カードを使って！！
その他	不明	プリペイド・カード

・まち・住環境の向上

分野名	班	内容
その他	G	生活しやすいまちであれば良いです
その他	G	暮らしやすいまちで良いです
その他	H	みんながほどほどの生活をする
その他	H	古いものを守るだけでなく、トレンドも導入し、古いと新しいまちづくり
その他	P	温暖な気候、自然環境を守り人情豊かな人間関係をいつまでも守りたい
その他	不明	住民が住みやすい環境

・人口増加

分野名	班	内容
その他	D	若い人が住みたい、来たい！3世代地域にするコミュニティカフェ
その他	L	若者にも住みやすい環境づくりをする
その他	L	年寄りよりも若い人たちに厚い予算の使いみちをする。「夢」を持ってもらう
その他	N	年少、生産者、高齢者が3分の1程度になるように 年少者の育成→楽しんで（教育、環境、観光）

・施設・土地利用

分野名	班	内容
その他	E	子どもと高齢者の交流、施設の共有化
その他	E	活用されていない学校教室、施設等の有効活用
その他	I	野村総研跡地を有効活用するためモルールを敷設して 宿泊施設建設、観光客が泊まれるようにする
その他	K	町内会館の建替に場所の変更する（大平山丸山町内会） 大平山公園希望
その他	P	施設の流用ー空きものーの利用・再生

・感想・その他

分野名	班	内容
その他	D	鎌倉幕府はどこ？
その他	D	旅館&寺に茶室 どうすれば人ってお金を払いた ってこの先思うか？→子ども村（安全な保育）面白い、 楽しい、千葉、シュタイナー
その他	F	今回のワールドカフェを生かして・・・
その他	F	今回のワールドカフェのアイディア etc.を十分活用 すること
その他	L	変化を恐れず果敢に挑戦ー現状維持は楽だが衰 退！！
その他	L	将来に向って小さな一歩を踏み出すー実行先行ー
その他	O	20年後 今の鎌倉をもっと不便？で豊かなまちに新 しい発想を・・・

(3) テキストマイニングを使用した市民意見のまとめ

意見の状況をより統計学的な視点で確認するために、補足的にテキストマイニングの手法を利用した分析を実施しました。

～テキストマイニングとは～

テキストマイニングとは、大量のテキストデータから一定の事実や傾向を発見するための手法です。

テキストマイニングを使用すると、大量の文字データを一度に分析することができ、人の手による意図的な分類に比べて統計的に信頼できる分析を行うことができます。

アンケートやインターネットサイトや掲示板を分析する際に広く取り入られています。

主に、以下の2点について分析を行いました。

- 意見の文章を形態素（名詞、形容詞、動詞、助詞といった品詞単位）に分解し、出現する度合いを集計する。
- 抽出した単語間の関係を確認するために、それらの関連性（同時に出現する頻度）を図示し、単語間のネットワークの状況を確認する（ネットワーク分析）。

利用するデータは、テキスト全体における関連性を調べるために、分野別に分類したものではなく、全意見を対象としました。

ア 意見の文章に形態素解析を施し、出現頻度を集計した結果は以下の表のとおりになります。

ここでは、形態素の品詞を“名詞”及び“形容詞”とし、出現頻度が5以上でかつ主要な品詞についてのみ示しています。また、全体での頻度と目標分野別の内訳結果も示しています。

上位に出現している単語は、目標として設定されている各将来像と関連したキーワードが多くみられます。例えば、「観光」、「環境」、「施設」、「自然」、「高齢」、「安全」、「企業」、「誘致」、「景観」、「世界」、「遺産」などが挙げられます。

【全意見についての単語の出現頻度集計結果（出現頻度5以上）】

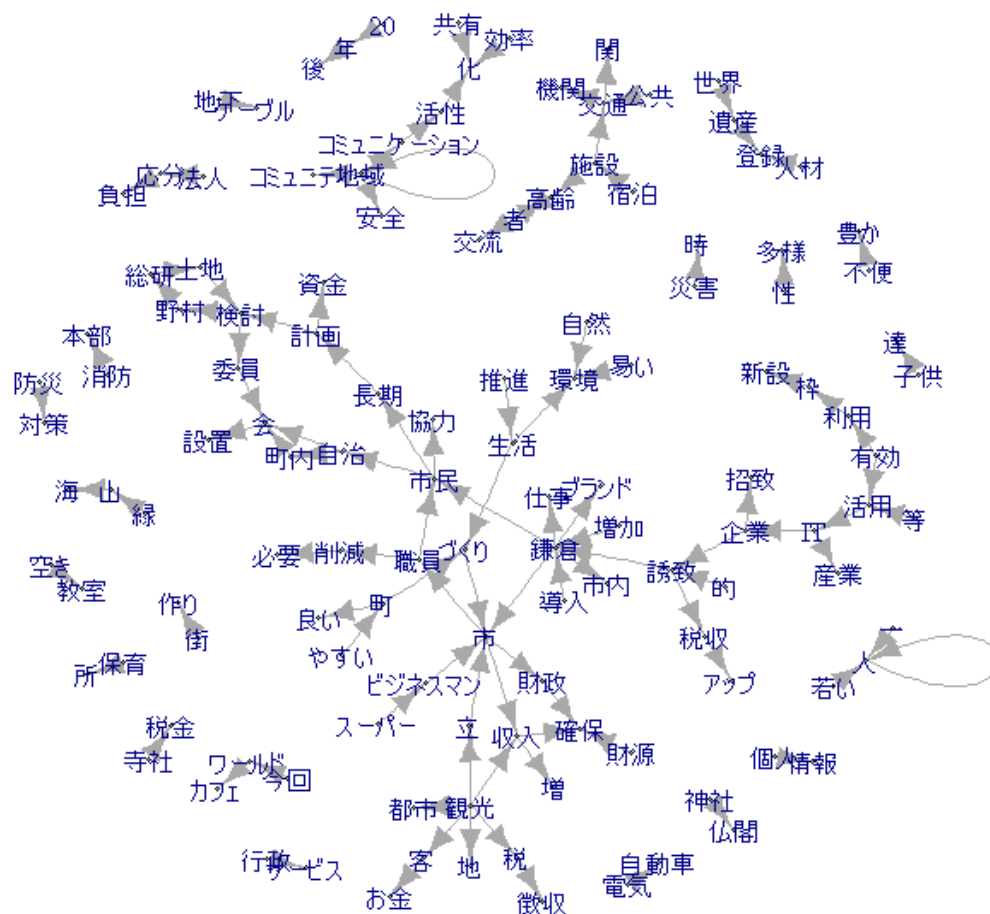
頻度 順位	単語	品詞	頻度							
			全体	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	その他
1	鎌倉	名詞	50	0	3	6	5	8	15	13
2	観光	名詞	32	0	0	1	0	3	20	8
3	地域	名詞	31	1	1	1	5	7	2	14
4	市民	名詞	26	0	1	0	0	0	7	18
5	市	名詞	18	0	0	0	0	0	3	15
6	環境	名詞	17	0	0	5	3	1	3	5
7	人	名詞	16	0	0	0	2	1	4	9
10	街	名詞	15	0	0	4	3	1	4	3
11	活用	名詞	14	0	0	3	1	0	5	5
12	施設	名詞	14	0	0	0	3	4	3	4
13	自然	名詞	14	0	0	8	0	0	5	1
14	整備	名詞	13	0	1	4	3	4	1	0
15	利用	名詞	13	0	0	0	2	5	5	1
16	職員	名詞	13	0	0	0	0	0	2	11
18	ため	名詞	13	0	1	1	4	1	3	3
19	よう	名詞	13	0	1	2	1	2	3	4
21	良い	形容詞	13	0	0	1	1	1	2	8
20	企業	名詞	12	0	0	0	0	1	11	0
22	IT	名詞	11	0	0	0	0	1	10	0
23	生活	名詞	11	0	0	3	0	1	1	6
24	誘致	名詞	11	0	0	0	0	2	9	0
25	高齢	名詞	11	1	0	0	6	1	1	2
27	市内	名詞	11	0	0	1	0	4	5	1
28	安全	名詞	11	0	0	0	0	7	0	4
29	こと	名詞	11	1	0	1	0	0	0	9
30	客	名詞	10	0	0	0	0	1	6	3
31	交通	名詞	10	0	0	0	0	8	1	1
32	寺社	名詞	10	0	0	0	0	0	0	10
33	税	名詞	10	0	0	0	0	0	2	8
34	町	名詞	10	0	2	1	1	1	1	4
35	町内	名詞	10	0	0	0	0	3	0	7
36	野村	名詞	10	0	0	0	0	7	2	1

頻度 順位	単語	品詞	頻度							
			全体	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	その他
37	検討	名詞	9	0	0	0	0	5	0	4
38	防災	名詞	9	0	0	1	0	6	1	1
39	景観	名詞	9	0	0	6	0	1	2	0
40	行政	名詞	9	0	0	2	0	0	1	6
41	収入	名詞	9	0	0	0	0	0	2	7
44	税収	名詞	9	0	0	1	0	1	4	3
45	土地	名詞	9	0	0	1	1	6	0	1
46	確保	名詞	8	0	0	0	0	0	1	7
47	教育	名詞	8	0	0	0	5	2	0	1
48	保育	名詞	8	0	0	0	7	0	0	1
49	自治	名詞	8	0	0	0	0	2	0	6
50	住民	名詞	8	0	0	0	1	2	0	5
51	若い	形容詞	7	0	0	0	1	1	3	2
52	開発	名詞	7	0	1	1	0	2	3	0
53	規制	名詞	7	0	0	3	0	3	1	0
54	参加	名詞	7	0	0	1	2	0	0	4
55	遺産	名詞	7	0	5	0	0	0	1	1
56	世界	名詞	7	0	5	0	0	0	1	1
57	総研	名詞	7	0	0	0	0	6	1	0
58	必要	名詞	7	0	1	1	0	2	0	3
59	子育て	名詞	6	0	0	0	5	0	0	1
60	宿泊	名詞	6	0	0	0	0	2	3	1
62	登録	名詞	6	0	3	0	2	0	1	0
63	etc.	名詞	6	0	0	0	0	1	3	2
64	コミュニケ ーション	名詞	6	0	0	0	0	3	0	3
65	プリペイ ド・カード	名詞	6	0	0	0	0	0	3	3
66	海	名詞	6	0	0	2	0	0	4	0
67	産業	名詞	6	0	0	0	0	0	5	1
68	子供	名詞	6	0	0	0	3	0	0	3
69	緑	名詞	6	0	0	4	0	1	1	0
70	有効	名詞	6	0	0	0	0	1	2	3

頻度 順位	単語	品詞	頻度							
			全体	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	その他
71	為	名詞	6	0	0	0	1	1	0	4
72	ない	形容詞	5	0	0	1	0	2	1	1
74	良い	形容詞	5	0	0	0	0	0	1	4
75	協力	名詞	5	0	1	0	0	0	1	3
76	計画	名詞	5	0	0	1	0	0	0	4
77	削減	名詞	5	0	0	0	0	0	0	5
78	使用	名詞	5	0	0	0	0	1	3	1
79	保存	名詞	5	0	2	1	0	0	1	1
80	災害	名詞	5	0	0	0	0	5	0	0
81	財政	名詞	5	0	0	0	0	0	0	5
82	山	名詞	5	0	0	3	0	1	1	0
83	場	名詞	5	0	0	0	1	1	2	1
84	情報	名詞	5	0	1	0	0	1	2	1
85	人材	名詞	5	0	0	0	4	0	0	1
86	跡地	名詞	5	0	0	0	0	3	1	1
87	福祉	名詞	5	0	0	0	3	1	0	1
88	健康	名詞	5	0	0	2	2	0	1	0
89	豊か	名詞	5	0	1	1	1	0	1	1

イ アで抽出した単語間（2単語）の関係を図示したものが下の図になります。

図12 抽出単語間のネットワークの状況



この図の矢印は、単語間の関係について、同時に出現する頻度が2以上の組み合わせを表示しています。この図から、重要なキーワードの認識が容易になるのと同時に、複数の『将来目標』間の関係性についても、読みとることができます。

このネットワーク図から、以下のような傾向が読みとれます。

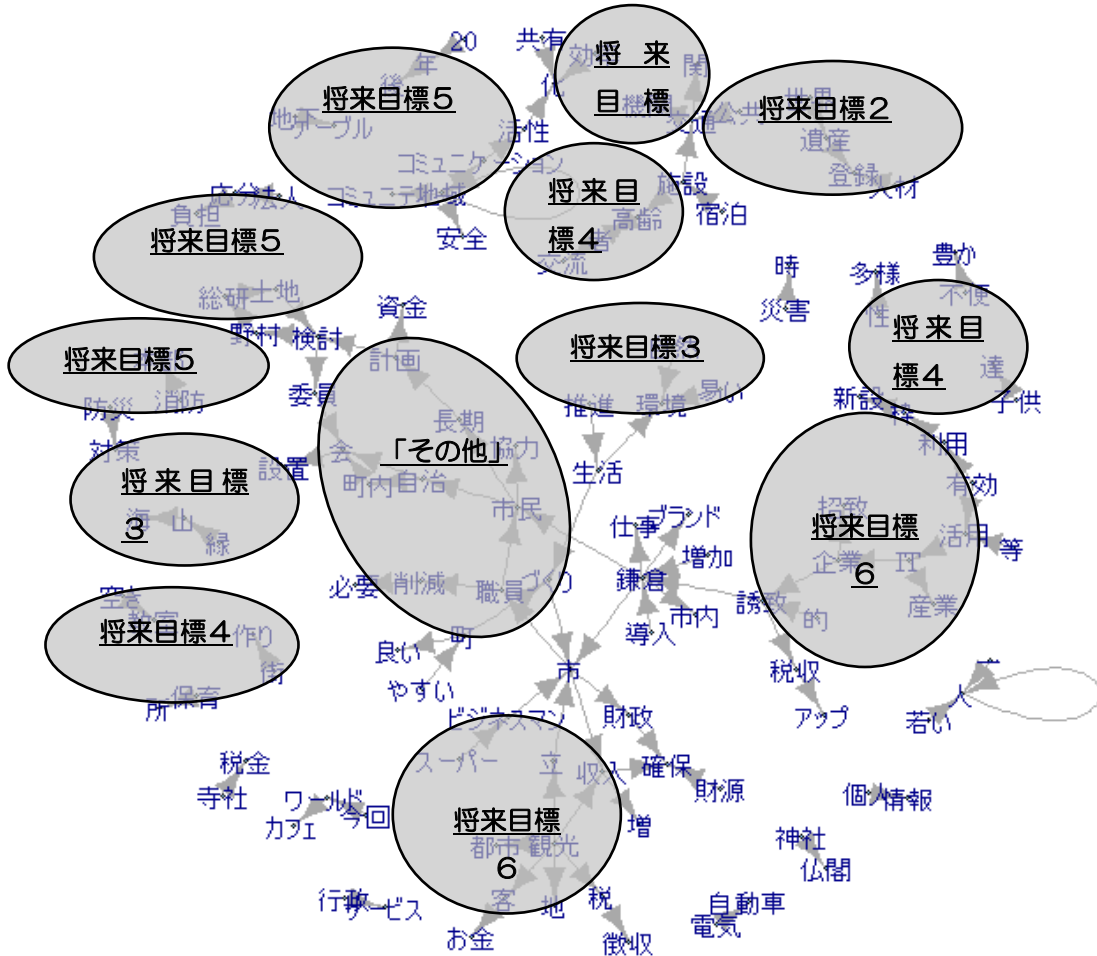
中心よりななめ右下にある「鎌倉」の右側には「企業誘致」と関連する単語（将来目標6）が集まっている一方で、「鎌倉」の左下には「市」を介して「収入」が、さらにその下には最も頻度の高い「観光」（将来目標6）があり、同じ将来目標6の中の2つの分野との関係がみてとれます。

「観光」（将来目標6）につながる言葉として「観光-客-お金」「観光-税-徴収」（将来目標6）など、観光分野を本市の財政状態の改善に役立てるべきであると考えている人が多いことがみてとれます。

同じく「鎌倉」の左上のネットワークには「市民」の活動に関する単語が連なり、その先に「総研」、「土地」といった将来目標5に関連する項目があります。「鎌倉」を含む大きなネットワークの周りには、いくつかの重要なキーワードが結合した小さなネットワークがみられます。例えば、「海-山-緑」（将来目標3）、「世界遺産登録-人材」（将来目標2）などが挙げられます。

出現頻度が高かった「施設」について関連する単語として「交通」（将来目標5）、「宿泊」（将来目標6）、「高齢」（将来目標4）が挙げられます。施設という単語がこれらの言葉とともに使用されていることが分かり、施設に関する参加者の関心が伺えます。

図 12 抽出単語間のネットワークの状況（『将来目標』との関係）



第3 話合いの内容

(1) 各グループにおける話合いの内容

ワールドカフェでは、各グループで模造紙に参加者が発言したことや話しをしていくなかで思ったことなどを書きながら意見交換を進めていきます。

以降では、各グループで記入された模造紙を掲載することで、ワールドカフェでの意見交換の内容を紹介します。

なお、記載については、原則として原文のままとしています。



グループA



模造紙の内容のまとめ

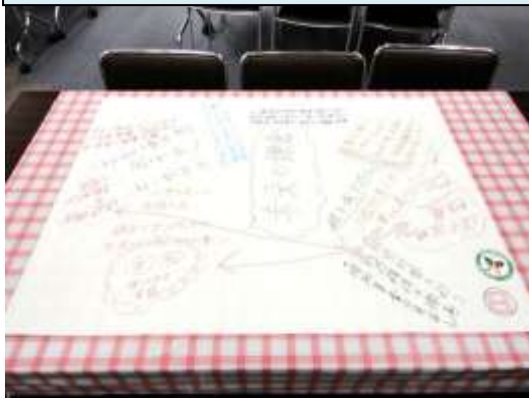
観光をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活を良くするためにも、草刈りや清掃、緑を植えるなどのアイディアが出ています。

記載内容

- 歩きたくなるまち
- 鎌倉の観光に力を！
- 住んでいる地域による「鎌倉観」の相違
寝る場所としての鎌倉 公共施設の充実！はある
- Reserve⇔Preserve
- 「鎌倉っていいな」のテーマについて→良い住民がいる必要、良くする住民
- ・地元にとって良い鎌倉？
・観光客にとって良い鎌倉？
・3つの鎌倉 古都・商工業・老人 etc.子どもの環境 自然
・鎌倉生まれの人の鎌倉？ 良い？
- 「良さ」の維持を 見た目の努力 子育て！
- 自然・山、海・空気が良い・神社、仏一歴史 人の暖かさ
→ゴミ分別・・・日本一
- 世界遺産のまちになってほしい！！
- 建築などの規制を見直してほしい
- 地元にとって観光客にとって（stay させるなど）どうあるべきか仕組みづくり
- 災害に対してどうあるべきか！防災と自然保存の融和
- 放射能測定所 もっと子どものために！鎌倉にもホットスポットがある！
- 草刈り 清掃 住んでいる住民が良くなる
- 緑を植える地域を良くする

グループB



模造紙の内容のまとめ

財政確保、交通対策など多くの記載が行われています。特に、自然や歴史をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 緑を残すまちづくり
- (ネーミング) 松竹通りを《例》寅さん通りに！！
 - ・補助事業の見直し
 - ・財源確保の徹底
 - ・防災対策を行う
- 海水浴場の利用場 サーフィン
- 調和のとれた場所に
 - 交通対策をきちんと行う
 - 若年層対策として(住)宅地構想を行う電柱を地下へ！ゾーニング(区分)
- 戦前・戦後からの住民→高齢化・空洞化→子孫が戻ってくる
 - 子どもでも地域に活気→若い人たちが快適に住める住宅街に！
- 自然はそのまま、手をつけず、数百年の歴史を持つ寺社建物は、しっかり維持
- 景色の良いところ 歴史のあるまち 気候温暖で住みやすい
- 観光道路の看板・旗の乱立防止。電線の地中化、スッキリしたまちなみにする
- 財政確保⇔宗教法人からの徴税
- 四季を通じて気候が良い
- 鎌倉という地名が世界の人知っているのが嬉しい
- 寺・社 法人の応分負担

グループC



模造紙の内容のまとめ

市職員、特産物、交通など多くの記載がありました。特に、住民（世代間、商店街など）をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 物納土地を競売する
- 住民同士の交流がしやすい
- 自然が多いので健康に良い
- 市職員が身近に付き合える
- 私道を市有に
- 大船は安い
- しらすがうまい
- （若者と老人）調和のとれるまち
- 武士の古都鎌倉を再現したまちなみ
- 今泉ヘモルールを!!
- 交通の便がいい
- 若者のまちより年をとったら住みたいまちに
- ベビー用品の店が少なくなった
- アメリカのフロリダのように
- 景色がいい！
- みんなが知っている
- IT 産業が増えているオフィスが安い
- 20 年後は高齢化が心配である。防災を考えたまちになっているか
- 環境がいいのに、通勤距離圏!!
- 自然と文化～海と山（サーフィン、ハイキング） 歴史があっていいな～
- 空き家対策がどうなっているか
- 正月三が日に交通ストップにより良い
- 道が狭いので救急車が通りにくいが 散歩道としては最適！

- 意識改革 市も個人も極力税収を考える
 - ・防災協会会員証
 - ・会館（町内）も自主的に建てる
 - ・ガイドの組織化→ビジネスとしてやってもらい、まちづくりに寄与
- 市長になったら 7 年後までには車は電気自動車・ハイブリッド車に買い換えること（車の価値は 7 年で価値が下がるので）
- 大船仲通り商店街のような雰囲気を他のところにもつくること→活性化する
- 墓地を豊かに
- 大船に巨大ショッピングモールを 藤沢・辻堂より大型のもの
- 散歩道としては良い 緑と青が多いこと
- 拝観料に観光税
- 市が音頭をとり、空き家、独居老人宅と子育て世代のマッチングを行う。そのために独居老人用アパート、大型病院などの建設をする
- 観光都市を支える高齢者集団を育成
- 津波避難ビル高齢者社会の医療、福祉

グループD



模造紙の内容のまとめ

寺社や歴史などの記載がありました。特に、住民同士のコミュニティをテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 文化都市
- 寺、社 法人の応分負担
- 寺社より税金を徴収できる案を考え財政確保・・・!!
- 今⇒歴史⇒未来
- 明月荘手入れ
- まち 色 ⇄ 機能⇄生活 色の調和 色環を満す
- 人と（子どもたちも）入っていける散策路
- 広町 ほたる
- 立ち止まるのも大事
- 世界的シェア具体性？
- コミュニティカフェ
- 世界へ広げる
- 自然に近い
- パーク&ライド
- 山は財産
- 20 年後の鎌倉 旧住民と新住民の同化を・・・!!20 年後の鎌倉の発展のもと!!
- →地域に特性ある コミュニティの育成へ
- ←地域別・・・に!!
- ・大船 ・北鎌 ・海浜 ・山
- 鎌倉の良いところは？このテーマは不要 悪い所・改善すべきことのテーマが次の道である。
- 雨包の地の衰退 世界遺産はどこへ

グループE



模造紙の内容のまとめ

働く環境、市役所、交通の便など多くの記載がありました。特に、小中学校や道德に関することなどの教育や交通をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 鎌倉で働ける環境 → 共働き、保育所
- 高校生活を鎌倉で・・・若い人達がどうやって鎌倉へ
- お寺、海、緑、山、渚、全部持ち合わせた鎌倉
- 鎌倉はひとくくりではない
- 公立幼稚園はないが高校生はたくさんいる。人材がある。住みやすいー交通の便（江ノ電 湘南新宿ライン）
- 人材登録でリストをつくり活用
- 貴重な古都を大切に人々が安心して住めるまちが続きますように
- 生活しやすいが
 - ・旧鎌倉地区は物価が高い
 - ・交通の便が悪いところがある
- いつまでも都市の人々の憩いのまちであってほしい
- 市役所がなんでも対応しすぎでは？
- 地域の教育と自治会がともに歩む
- 恒久なイメージ
- 神社がある。リスがいる。
- 善悪の判断ができること。モラル教育 人のせいにしない
- 子育てが終了した人達の能力の活用
- 鎌倉の外から入る利便はこれ以上それほど必要ではないが、住んでいる人が生活を続けられる交通の利便の確保（小さなワゴン車によるバスのかわりなど）
- 学校にまかせすぎ 責任問題を問いすぎ
- バスを小型に変えて通りやすくする（小回りくん）使い勝手がいい

- 市役所の課を大きく！効率良く
- 長く住みたい
- 海と山がある
- 空が広い
- 鎌倉駅のまわりで全て用が足りる。（コンパクト機能的）
- 高齢の方と子どもの保育と両立できないか？デイケアと保育所
- 海と山が両方ある
- 空気が良い
- 道徳教育をしっかりやる
- 交通網？
- 東京・横浜に勤務できる⇒鎌倉でも仕事ができれば・・・
- 行政が市民を甘やかしている！
- どこに行っても鎌倉の知名度が高い！（全国区）
- 交通の便、物価が高い、医者も多い 開業医
- 小中学校の子どもと地域がつながると色々なこと 自治会も良くなる
- 交通の便がよい
- 緑が多い
- 今ある自然を 20 年後も残したい→海岸線も山にも
- 住民が住みやすい利便性を求める
- 観光税

グループF



模造紙の内容のまとめ

保育・教育をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活を良くするためにも、声をかけられたら、親切に受け応えするなどのアイデアが出ています。

記載内容

- 歴史的建造物 めざせ世界遺産!!
- 親切な人達がたくさん住む鎌倉
声をかけられたら、親切に受け応え
理解の心 子どもの声、動物の声など色々な生活音に
- ゴミの分別が日本一
- 海 山 空気 緑 植物 四季折々
- 文化承継 住民理解と協力
- 夜と昼の防犯
- 景色が良い あこがれのまち
- 市の行政業務 できるだけ・・・アウトソーシング化
- 教育環境が良い
- 野村総研の土地再検討 IT 企業団地開発
- 意識改革 市の職員はスーパービジネスマンをめざす!!市民もスーパービジネスマンをめざす!!
- 市内から 電柱や看板などなくして美しい景観
- 20年後 神社仏閣に宿泊できる
- 工夫された観光 景観を考えたまち
(電柱、看板がない)(トイレは民家を借りる)⇒ドイツローテンブルクの例
- 20年後 文化都市新しい産業⇒法人税増える
- 安全のまちづくり 3世代で住めるまち 散歩道 谷戸 市民を交えた長期計画検討委員会の設置!!(早急)
- 保育の環境充実
- 温故知新+創
トレンディ AND オールドファッションの融合のまち

グループ G



模造紙の内容のまとめ

防災をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- ゴミの処理問題 プラトレイなど減らすこと。量り売りを拡大すること。
- 寺神社より税金を取る。その方法と対策を考える。観光税収の拡大をはかる。
- 鎌倉の“ブランド”力がある。
- 散策に良い
- 市の職員は市のことを考えること。弁当などは鎌倉市内で。
- 都会の人の心を癒す、喜ばれているまち
- 季節ごとに変わる潮の香りが好き
- 静かに佇む古都鎌倉であってよい
- 地震時の避難
- ルート・ルールを明確に
- 防災無線聞こえなかった
- 避難所は地域の住民だけでなく、観光客も避難することに留意
- 自然環境
- 行政のスリム化、合理化、効率化
- 鎌倉、お寺は日本人の心のふる里 憧れ
- 鎌倉市＋子育てしやすい環境＝日本一
- 海、山バランス良い
- 地産地消!!職員も!!
- 市民がもっと気軽に行政について語り合える場を
- 観光地
- 子どもを増やす政策は無駄
- 20年後のこと 津波のこと 高台への避難の整備 子どももお年寄りも逃げられるように観光客もいることを配慮

グループH



模造紙の内容のまとめ

市役所職員や世代間交流、自然環境などの記載がありました。特に、町内会や近所をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- ほどほどの生活を市長自ら市民まで、職員も
- 職員のプライドが高く上から目線！？
- 災害時の弱者（要介護者）対策を考える
- 町内会、自治会活動の活発化
- 海・緑の自然
- 行政の方で自然破壊に手を貸しているように見受けられる
- 近所の方が良い 親切な方が多い
- 20 年後、近所でお互い助け合えるような鎌倉
- 20 年後は若い人にとって夢のある社会へ
- 若者に時間的、精神的余裕を!!
- 有料でキレイなトイレを
- 高齢者の方への支援はもう十分
- 近所（コミュニケーション）とのつながり
- 祭り、運動会など活発！
- 市内に若い人がマトモに働ける場をつくる!!子育てにも関われる
- 若い人に入ってきてほしい 税金安くして住みやすく
- 20 年後、「若い人 3 分の 1、働き盛り 3 分の 1、高齢者 3 分の 1」←理想
- トレンドの店もある 若い人も集まる
- 文化的都市のイメージ
- 知名度が高い
- 若者の発言が必要
- 新しいモノ好き！？
- IT 産業誘致（法人税 up ↑）

- 公共施設・空き家利用
- 野村跡地→消防署に！？
- 町内会の各組に消火器を置いてほしい 防災
- 高層ビルがない
- 静けさ 山
- 海の観光地 活性化
- 散歩するのに良い
- 若者に夢を！良い目をみてきた高齢者対策よりも、若い人達が将来に希望を持てるよう！
- 多様な人を受け入れ、それに対応できるまち
- 近所から気軽に声をかけられる関係
- 神社仏閣から徴税できないか？市からいろいろやりたくても、お金がないと動けない
- 3世代住めるまち
- 市民・観光客を含めた防災・道路・交通
- 防災対策 BCP BCM DR
- 自然が多い 多少不便 観光客？

グループI



模造紙の内容のまとめ

鎌倉の自然や環境について記載されています。特に、収入源についての書きこみや、子ども・若者をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 海あり 山あり 緑豊かで 名所旧蹟あり
- 山の開発が進み、残念だが・・・海も浜が狭くなっているが山の上から見る景色がすばらしい
- 泉水橋あたりに住んでいる 落ちついて昔の人と人とのつながりがあるまち
- 観光をB/Dするのに必要な土地、インフラが用意できるか。→観光推進のためには観光のための宿泊施設 ←観光は鎌倉の1つの柱
- 子どもが鎌倉に帰る策をとる
- 企業は必要→頭脳集団→場所を取らず頭を使う企業の育成
- “鎌倉”はブランド！このブランドを維持していくには何をすればいいか
- 若者が住みやすいまちに
- 自然を維持しつつ収入増
- 鎌倉で働ける環境に
- 近代化しないでほしい
- キレイなまちに！
- 鎌倉市の収入を増やすには、野村総研跡地を馬券売場にする
- 金がかかるというデータが示されたが、今頃分かるというのはおかしい、収入を増やすには、鎌倉で働くようにする。小さな規模の企業、例えばIT 企業のためのインフラ整備 ex 託児所
- ごみのない、きれいなまち、住みやすい環境を整える
- 外からの客を増やすのと住むのとは相反する。
- 政治の話しを家庭で（市長談）
- 国鉄跡地を収入源に
- 未来を語るのに若いメンバーが少ない

- この会ぐらい市職員だけで運営できないのか！
- 行政コスト維持をもっと持て
- 切通しの外の鎌倉の整備 発信が大切ではないか
- 「鎌倉っ子」

グループJ



模造紙の内容のまとめ

「鎌倉の魅力」「20 年後の鎌倉」「自分達に何ができるか」といった区分に分けられています。特に、世界遺産や子ども・高齢者をテーマとした書きこみが多くなっています。

記載内容

- 鎌倉の魅力
- 緑と海と山と自然の豊かさ
- 美しいまちなみ
- ブランド（鎌倉に住んでいます）－鎌倉山
- 気候（四季豊か）と人が温かい
- 外国人にも魅力あるまちに →住宅案内、英語／中国語、施設案内、様式トイレ
- 若者主宰のためのホテル、お寺宿切→滞在型、ゆっくり（ゴチャゴチャさせない）
- 鎌倉で野菜を
- 先立つものの金がない!!
現実論としてどうする
－緑とIT－企業経営感覚不足
- 教育大切／施設
①観光 ②住みたい ③仕事に
- 空き家が多い／独居老人
→子ども用に借上げ（住む人を 子どもをふやす）ボランティア、外国人
- 文化（お寺）芸術（歴史、遺産）文豪
→立派な高齢者！（文士、名士）（鎌倉でマナーを学ぶ）－余裕ある人－芦屋か鎌倉か
- 老人と子どもの共存（高齢者＋保育所）
- （良い意味での）規制が多い（国政地区 古都保全）→野村総研跡 etc.→IT 企業呼ばば？博物館不要 芸術館活用できていない－モルール直す!!
観光資源に もっと TV／映画に（“阪神電車” →映画 “江ノ島電車”）
- 海老名の第一生命は反面教師－文化必要
- 鎌倉に住む→鎌倉で豊かで、人間らしい、最先端の仕事する

- 散歩して気持ち良いまち
 - 高い建物ないなちなみ
 - 鎌倉山とか good
 - 海（サーフィン、湘南イメージ）
 - 鎌倉グルメ（ハム、パスタ、地ビール、お菓子、しらす、雑貨）
 - 鎌倉高級ブランド（野菜、シャツ、魚、住宅地）
 - IT 企業（ベンチャー起業）
 - （三菱電機生産）大企業→（でも工場はいらない）
 - もっと観光産業（そのために税金も収入）→日本のヨーロッパの小さなまちへ
 - ゴミ分別日本一厳しい→ゴミ少ない
- Ⅱ 20 年後の鎌倉
- 20 年後の鎌倉＝観光のまちー今で 1,800 万人×2,500 円（古都 5,000 円）
ー小さな素敵なまち（ヨーロッパの小さなまち）
 - （ローテニングルク（ロマンティック街道）→ドイツが外国人呼ぶためにつくった
徹底して景観を守る／看板、トイレ（民家のトイレを共有）、電線なし（道の反対側
に電線）、建物／色規制）→イタリアも外観守る（内はハイテク）
 - “不便”で豊かなまち 日本のローテンブルク
ー量的豊かさ×
ー質的豊かさ○
 - 車の規制
ー正月もセイシ年中土日にやる
ー歩かせる（＋電気バス）
 - 世界遺産申請
市議会議員がポスター撤去に反対するのはということ??
 - 世界遺産の規制 歓迎、PR すべき→世界遺産するとまちが汚くなると誤解してい
る人が多い
 - 世界遺産のまちで
 - ・最先端の仕事をして
 - ・ゆっくり暮らして
 - ・野菜をつくる

Ⅲ 自分達に何ができるか

- テーマごとにグループ化
- 知識、勉強＋市民参加 →個人になげるのではなく市でオーガナイズする。→市役所の視点だけでは×。（企業経営の視点を！）⇒攻めの視点！
在住学生＋（高齢者＋若い人／男女）
- タウンミーティングは老人ばかり・・・
- 税収減少は避けられない→自助努力
- 緑・観光を大切に して 下手な企業誘致しない⇒IT、知的→横浜でやってくれ
- 規制をかける（市だけの法律）－市民の協力が必須／共通認知

グループK



模造紙の内容のまとめ

緑の保全をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活を良くするためにも、ゴミなどのマナーを守り、緑の手入れなどのアイデアが出ています。

記載内容

- 寺、神社より税金をとること！
- 周囲の山の活用 新しい避難路をいくつもつくる（ex 御成小）
- 住民で荒れた山をきれいにする（町内会）
- 自然が良く守られている
- 市の協力が必要!!
- 隣人とのつながりが弱くなっている（町内会の強化）
- 放りっぱなしの自然が多い 山が荒れている（管理していない）
- 市長になったら
- 観光都市で行く!!
- 緑を守る必要あり→市で買ってもいい
- 民間の所有
- （公）私有地→払い下げてはいけない
- 調整地区の維持
- 良い環境を維持すると結果、転入者も増える
- 雰囲気が好き
- 住み良い環境を守る
- ゴミ、ペットの排泄物 持ち帰ってほしい
- マナーを守る
- 伝統のお祭りが楽しい
- 緑の保全
- 津波に対する避難路 山へ逃げる
- 津波を防ぐための方策を考える必要、逃げるルートの確認
- 緑を守るために市民の手で・・・手入れに入る

- 緑の自然が多い
- 毎日中央公園を散歩しています
- 高齢者対策 地震 孤独

グループ	
	模造紙の内容のまとめ 寺社（税収を含め）をテーマとした書きこみが多くなっています。 参加した市民の方ができることとしては、旧鎌倉市内だけではなく、その他の地区をPR するなどのアイディアが出ています。
	記載内容 ● 旧鎌倉市内だけではなく、その他地区のPR（寺社、観光物件）にも力を入れる ● 全国の観光地としての天気予報が出る 税、知名度が高い ● 鎌倉は静か、たたずまいが落ちついている ● 海がある、山がある、モノレールがある ● 20 年後は若い人が住めるのか？ワーキングプアヤングが増えているのでは。住居地の区分け（例・西鎌、鎌倉山／腰越） ● 若い人が住みやすい場所に、子育てのしやすいまちに ● 税収入のみちを拡大する ● 横浜より良い場所だと思います ● 寺社の関係用を地元の業者で賄うようにする（例 弁当でも地元業者を使う） ● 市職員は地元民で ● 一度は住みたい（ex フロリダ）⇒ブランド価値↑ ● 自然と環境の良さ ● 寺社のホームステイプラン ● 市役所職員の過半数を鎌倉市民から採る ● 知名度が抜群！ ● 気候が良い、東京に近い ● 寺社に税負担の協力を得て最高の観光地にする（タブーをとりはらう） ● プリペイド・カード方式で観光客から自動徴税する（古都保存税） ● 我々老人にとって「良いところ」というのは、はたして若い人にはどうだろうか？ ● 変化を恐れず果敢に挑戦。現状維持は楽だが、衰退

- 一地方都市なのに銀行など多く、東京、横浜にも近く良いところ。
- 市のくださった「福寿手帳」で大抵の神社、寺院に入れる。ありがたい
- 20 年後にはまちの電線のないように
- 観光立市をめざせ、世界遺産登録を契機に・・・
- 海と山があり、空気が美味!!
- 若い人が安心して住めるまちづくり
- 安価な市営住宅の開発
- 鎌倉市にビジョンがない（少ない）
（収入を計る方法がなぜないのか！？）

グループM



模造紙の内容のまとめ

世界遺産をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活をよくするためにも、若宮町内会の清掃活動などのアイデアが出ています。

記載内容

- 鎌倉っていいな＝中心街段葛を永住の地とする「鎌倉っていいな」骨をうずめる土地です
- 20年後、後期高齢者のまちになっても変わらないものは歴史の古都、世界の鎌倉、古都でありたい
- 高齢者の住むまちは地理的に市街地でないと行末が不安である
- 海に山に市街部を大切に保存し、世界遺産登録に向けて努力するのは後に続く人々の努力である
- 新旧、住民と対話
- 過去から鎌倉の良き伝統と新しい意識と伝統の創造！
- 市長一人は保つ 削減ばかりでなく一仕事を評価する一必要な財源を確保する 自浄化による活性化
- 女性グループ アピールしていく一放射能問題 鎌倉在住子どものため一子どもを育てるまちじゃなくなっている一携帯基地局 電磁波
- 平和意識が高い一市役所にカンバンがある
- 鎌倉緑の基本法
- 自治意識が強い
- 新住民一旧住民
- エコ新しい意識一古き良き伝統 自然山 世界遺産一宿泊施設増やす
- 神社、宗教法人、仏閣から税金もらう
- アンケートの結果をどのように公表するのか？
- ゴミのないまち
- 観光 開く鎌倉 海の開発 フィッシャーマンズ ワーフ サンフランシスコ 鎌倉えび
- 若宮町内会の清掃活動（町内会として）

グループN



模造紙の内容のまとめ

観光客をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活を良くするためにも、近隣とのコミュニケーションなどのアイデアが出ています。

記載内容

- IT の企業をよんだら税収入の増加
- 緑地の整備→人が入れるように
- 野村総研・JR の跡地の活用
- 高齢化が進み→〇%位に 子どもの数も減少？していくであろう。税収入も減少してしまう心配がある。
- 一方で観光客は増えて交通対策が重要
- 市民は静かなまちを望んでいるであろう。変化を求めているはない
- 外からみる鎌倉と住んでいる鎌倉市民とのバランスは？町内の生活が中心でありそれから鎌倉のあり方を考えていきたい
- 傾斜地に住宅建てる 高齢化にしても家を建て直したりしないのでそのまま住みにくくなっていく。
- お祭りの 20 年後の姿は？高齢化世帯がより多くなっていくので子ども世帯が地域から出て行くことが出てくる。→東京や横浜に住み着いてしまう。
- 空地・家→老人の施設 の場所を有効活用する
- 車窓を楽しむ観光客
- 近隣とのコミュニケーション
- 生活の中、町内会の生活実感がもてる
- 抽象的ではなく、実感（生活）として
- 公共施設充実（支援員、福祉、教育、子育て）等→講座の多様さ
- 地元（住民）と観光客ーゴミ（公害）のつながり
- 昔からあるまちか子ども達のための動き
- 歩いて楽しめる⇔ドライブする場所ではない
- 関心事→「交通渋滞」-観光客、先祖代々生活のしやすさ バランス

- 14. 地域安全
 - 18. 住宅、住環境
 - 26. コミュニティ 活性化
 - ↓ ←防災対策
 - 地域のコミュニティ
 - ↓
 - プライバシーをこえた把握と配慮
 - ↓
 - 市民サービス
 - ↓
 - 防災を基軸に医療、消防、小中学校自治体との連携と役割を明確に
 - ＝
 - 誠実に相手とともに対応ーコミュニケーション
- 「鎌倉っていいなあ 緑、歴史、まち、観光、メッカ、世界遺産をめざす時期」
- 防災訓練＝訓練していないことは災害時にできない
 - ↓
 - 生活とコミュニケーションをとらえる機会
 - ↓
 - 自治体と自治町内会広報
- 七里ヶ浜お店「ビルズ」お台場、みなとみらいにもある。うなぎが好き（あさばやさん）ひとりで、ふらっと、おいしいものを、楽しめる場所。
- 子ども世帯が、戻ってくるような力づくり
- 産婦人科が少ない
- ライトアップとして観光地
- 観光客とごみ問題 地域でごみ問題に取り組んでいる
- 祭りなども縮小の傾向
- 人口が減っている

グループO



模造紙の内容のまとめ

高齢者をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる住民の生活を良くするためにも、景観維持を町内会などから行うなどのアイディアが出ています。

記載内容

- 短期計画 中期 長期計画・・・50～100年
 - ・景観・・・規制反対がある
 - ・住民意識の変更
 - ・緊急避難のルート
 - ・多様な人
 - ・アンケート、重要度、満足度、topdownで
 - ・20年後がなかなか語れない
 - ・3世代で暮せる鎌倉
 - ・新たな生活・職業域システム
- 緑の山 七里ヶ浜からの禅 建長寺 円覚寺 眺望 除夜の鐘 大船観音 寺の庭園 鎌倉の下町風（大船） 生活しやすい 交通の便利さ（東京、成田、高崎）
- 教育（歴史、人間性豊かな）モラル教育
- 地震に対処した住居（ex 市庁舎 15m 高ビル）
- 世界遺産の都市（静 環境）IT 企業の活躍、誘致、財政の向上
- 住みやすいまち 道路・歩道の整備
- 健康であること。体・精神ともに健全な！介護保険
- 緑の保全（山の植林 山の手入れ）
- 土地の有効利用（空地）
- 老人施設を空き地に

- 厳しさも必要（規制）、景観を整える
- 景観維持：守る会 ストップをかける力 町内会から
- 老人ホーム 子ども保育：空き家、空き地に 優しいホームをつくる 弱者に対する心
- 教育の献身（知育・体育）：教養を身につけさせる（吉田松陰先生！）心、精神へのこやし
- 生活見直し：反大量消費、廃棄物の利用（廃材）
- 谷戸 切り通し 露頭に歴史を感じる。家に戻ってきた！
- 生活の場が海、山、まち、歴史、文化 一体化
- リラックス 歴史的なものが普通にまざっている

グループP



模造紙の内容のまとめ

人情や人の心をテーマとした書きこみが多くなっています。

参加した市民の方ができることとしては、住んでいる市民の生活を良くするためにも、交通（車、公共機関等）マナーを守るなどのアイデアが出ています。

記載内容

- 自然が豊か（海、山、市民の庭）
- 文化遺産がたくさんある
- 若い人が住みたいと思うまちに
- 産業の振興—税収を誘致
- 人と人とのふれあいを大切にしたい、あいさつ、町内のそうじ、飲みにケーション
- 20 年後は若年層が多く住むまち
- 日本有数の教育水準
- 保育施設の完備
- 明日への責任 明日の安心 ⇒鎌倉は良いところと思いがち？高齢で明るさが無い、光の消えたまち？
- 自然と環境の維持、財政確保の重要性
- 人とのふれあい明るいあいさつ
- 観光客に優しいまちづくりという観点から鎌倉の歴史を各自学ぼう。家の外観も美しくするため花を植えるなども。
- 市民が日本の美しいマナーを身につけ、人と接する。これこそが心の世界遺産。
- 観光客へのウエルカムの気持ちを、自分のできる範囲でする（庭に花を!!など）
- 20 年後も現在と変わらない景観を残した状態を望みます
- （車）渋滞にならない社会
- 現時点で大きな台風もなく地震なく、人情の暖かい鎌倉
- お産のできる病院がほしい
- 20 年後は緑の中に IT 企業がうまく融合したまち
- 温暖・緑・海 自然環境に恵まれ人の心もあたたかいように感じる
- 鎌倉の文化と伝統の継承

- 車の運転マナーが良い
- 公共交通機関の乗車・整列マナーが良い
- 目的：観光・産業・居住環境のバランスのとれた発展をめざす
手段：観光都市として勝ち残るため最高のサービスと収益を上げる努力を、
 - ①観光税による財源確保
 - ②高齢者及び観光サービスを担っていただく（有償）
 - ③ＩＴ等開発拠点を自然との調和あるかたちで誘致⇒税収・若年層増加をはかる
 - ④一度は住んでみたい住宅地めざし住環境の整備補足：寺社から観光税をとろう（腰が引けてはいけない）＝共存共栄

(2) 全体での意見共有

ワールドカフェの最後に、全体での意見共有タイムとして、参加した市民の方による発表が行われました。

その概要は、以下の通りです。

① 「人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち」について

- ・最近、自治会活動を通じて、市民として自治への参加の実感が沸いてきました。
- ・今回のワールドカフェのような場を普段から地域で設けることにより、若い人が住みたい、来たいまち、3世帯が地域で生活できるようなまちになっていったら良いと思います。

② 「歴史を継承し、文化を創造するまち」について

- ・鎌倉は様々な文化的な遺産があり、文化的な成果もあがってきていますが、そういったものを市民1人ひとりが共有するような仕組みが少ないのではないかと思います。鎌倉に観光に来た人などに対して、そういった情報を集積した場があると良いのではないかと思います。
- ・世界遺産に登録されることによって、知名度が高まり、鎌倉にお金が落ち、それを受けてまた観光に力を入れることで、また知名度が高まるという良い循環が生まれると良いと思います。

③ 「都市環境を保全・創造するまち」について

- ・市の生涯学習施設の周りの自然の整備の活動を通じて、人と人とのつながりが深まったという経験をしました。こうしたことを通じて、地域意識を高めていきましょう。
- ・身の回りの緑などの自然を保持することを考えて、住みやすい場所として維持していくことが大切です。手を加えて改善と称して、破壊につながらないようにしていかなければならないと思いました。

④ 「健やかで心豊かに暮らせるまち」について

- 鎌倉市にも若い人が是非とも住んでほしいです。子育てに重点的に力を入れて、若い人がどんどん住んでくださるようになっていったら良いと思います。次の世代のことも考えて、まず、鎌倉は日本一子育てをしやすいようにしていただきたいと思っています。
- 子育てをしているなかで、共働きなので親にすぎることも多いのですが、親としても孫と会えることを楽しみにしているということもあるようです。こうした関係を地域の中でできれば、高齢者の方と育てる側と子どもが安心して、いろいろな意味で助け合っていけるのではないかと思います。
- 高齢者の能力の活用、人材登用が大切だと思います。
- 教養と教育というものは一体化しているものだと思います。いま、教育が日本中でとても衰退しているように思います。そのため、親が働いている子どもたちが、1人になるのではなく、高齢者もできることがあったらということが話に出ました。高齢者は、落ち着いて小さい子ども達と話をし、いろいろなことを教えてあげられるのではないかと思います。例えば、空き地に、高齢者と子どもがともに過ごせるような施設を設置して、子どもたちも安心して、そこで過ごせるような場所があっても良いかと思います。



⑤ 「安全で快適な生活が送れるまち」について

- 東日本大震災以降、津波に対する皆さんの関心が非常に高まっていると思います。鎌倉市においても、海拔はこのあたりでも4, 5m しかないところが多く、私の住む腰越地区においてもそういったところが多いので、町内会あげて、日頃から関心を高めて、いざというときには1人も命を落とすことがないようにしていこうということで、訓練をしているところです。鎌倉市全体でそういったことを一生懸命やっていく必要があるのではないかと思います。
- みんなが防災対策を考えているときに縦断的に地域の病院、学校、消防、自治町内会が役割を明確にして、訓練を行ったりすることが地域のコミュニティにつながると思います。
- ゴールデンウィークは車を入らせないようにした方が良いのではないかとということもありますが、実際にはゴールデンウィークは江ノ電に乗りきれないというような状況です。バスも同じく、いろいろな理由で混んでいます。道路だけで考えるのではなく、公共交通機関とあわせて検討することが必要なのではないかと思います。

⑥ 「活力ある暮らしやすいまち」について

- 若い人たちに話を聞くと、鎌倉で働く場所がないという話を聞きます。職住の問題を含めまして、雇用に貢献する企業の誘致などをしたら良いと思います。そうしたら、若い人たちも集まってくるのではないのでしょうか。
- 観光とビジネスと居住環境の3つのバランスをとることが大切であり、どれかをとるとどれかが壊れるとなりやすいところを、うまく知恵を使っていきましょう。自然環境を損ねることが少ないかたちで、誘致するものも工場などではなく、研究開発的なものにするということがあると思います。観光について、観光整備などを考えると財源の問題が生じてきますが、これについて収入を増やす形でいきましょう。高齢者もできるだけ観光産業に参画するかたちで、鎌倉の観光をより質の高いものとしていけたら良いと思います。このようにしていくことにより、楽しめるまちになるし、企業も出てきて良かったなと、住んでいる人も年をとったら鎌倉に住みたいねとか、成功したら鎌倉に住みたいねというようなまちになっていくと思います。そのために、調和ある発展する知恵をみんなで出していきたいと思います。

⑦ 「その他」について

- 本日のこういった場で市の行政がどうしているか、市民がどうしているかを意見交換できたと思います。こうした機会を自治会ごとでも結構ですから増やしていただいて、市のご担当の方が自治会館に総会でもあれば、顔を出するなど、お互いが何を考えているのか分かるようにしていくのが一番大切だと思います。

意見発表の後に、自分が大切だと思う将来目標について、挙手による投票を行いました。その結果は、以下のとおりになりました。

【自分が大切だと思う将来目標について 投票結果】

「1. 人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち」	2 票
「2. 歴史を継承し、文化を創造するまち」	4 票
「3. 都市環境を保全・創造するまち」	14 票
「4. 健やかで心豊かに暮らせるまち」	12 票
「5. 安全で快適な生活が送れるまち」	17 票
「6. 活力ある暮らしやすいまち」	22 票
「7. その他」	14 票



第4 参加者アンケートの結果について

ワールドカフェに参加していただいた市民の皆さんに対して、ワールドカフェ終了後にアンケートを実施しました。その結果は次のとおりでした。

（質問１）本日、あなたが参加されたきっかけは、どちらでしたか。

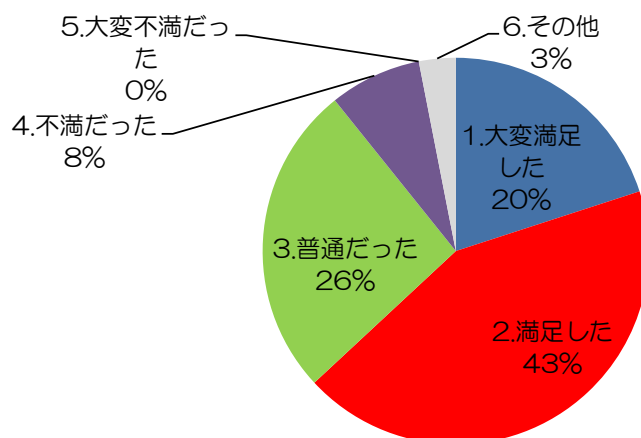
1. 市民意識調査アンケートに回答し、同封されていた イベントのチラシを見て応募し、参加した。 35 件（53.9%）
2. 自治・町内会からの推薦により、参加した。 27 件（41.5%）
3. その他 3 件（4.6%）

（質問２）本日の「未来を語ろう！ワールドカフェ in かまくら」にご参加されて、いかがでしたか。

ア. ワールドカフェの手法について

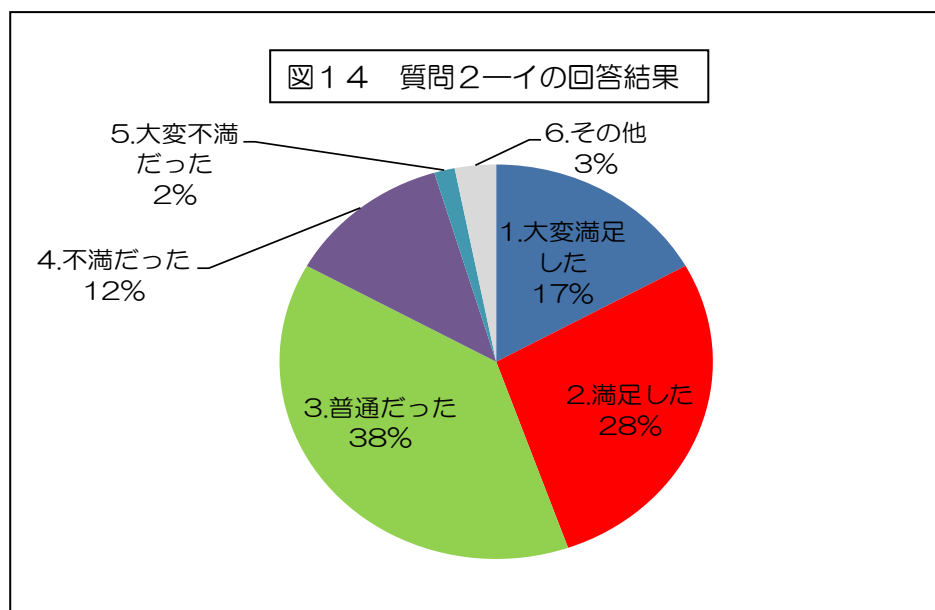
1. 大変満足した 13 件（20.0%）
2. 満足した 28 件（43.1%）
3. 普通だった 17 件（26.1%）
4. 不満だった 5 件（7.7%）
5. 大変不満だった 0 件（0.0%）
6. その他 2 件（3.1%）

図13 質問2ーアの回答結果



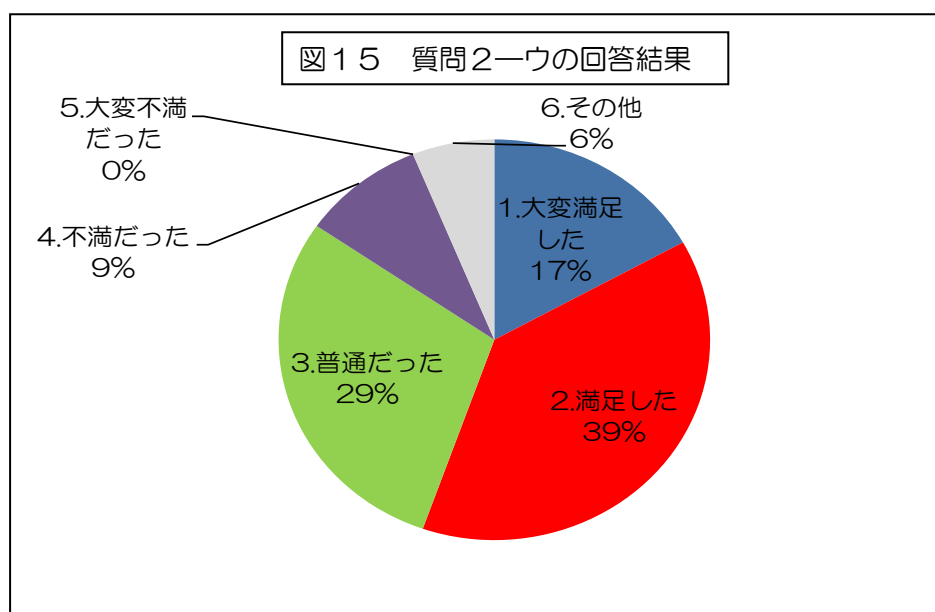
イ. 会場・進行について

1. 大変満足した	11 件 (16.9%)
2. 満足した	18 件 (27.7%)
3. 普通だった	25 件 (38.5%)
4. 不満だった	8 件 (12.3%)
5. 大変不満だった	1 件 (1.5%)
6. その他	2 件 (3.1%)



ウ. 内容について

1. 大変満足した	11 件 (16.9%)
2. 満足した	25 件 (38.5%)
3. 普通だった	19 件 (29.2%)
4. 不満だった	6 件 (9.2%)
5. 大変不満だった	0 件 (0.0%)
6. その他	4 件 (6.2%)



(質問3) 今後の鎌倉にとって重要な取組について、お考えをお聞かせください。
(最大3つまで)

順位		内容	件
1	4	歴史環境	22
2	22	観光	17
3	21	産業振興	15
4	6	みどり	14
5	14	地域安全	14
6	25	市民参画・協働の推進	14
7	27	地域福祉の推進	14
8	7	都市景観	13
9	9	健康福祉	8
10	10	学校教育	8
11	17	道路整備	8
12	26	コミュニティー活動の活性化	7
13	15	市街地整備	6
14	16	総合交通	5
15	20	地域情報化	4
16	1	平和・人権	3
17	5	文化	3
18	11	生涯学習	2
19	12	青少年育成	2
20	18	住宅・住環境	2
21	23	勤労者福祉	2
22	2	男女共同参画社会	1
23	3	多文化共生社会	1
24	19	下水道・河川	1
25	8	生活環境	0
26	13	スポーツ・レクリエーション	0
27	24	消費生活	0

(質問4) その他、全般的なご意見、ご感想ございましたら、お聞かせください。

1	全てが難しいことではあるが、できることから一步一步進めていただきたい。
2	グループで楽しく話し合うことができました。素人同士ですので掘下げることはできませんでしたが、色々なお考えを拝聴でき、良かったと思います。
3	・休憩時間が長すぎた。 ・参加者の年齢・性別が偏っていたので、もっと若い世代に参加してもらえるように工夫が必要では？ ・それぞれの方の雑談の中にも市政に反映できそうなヒントがあるように感じた。
4	世界の鎌倉になるようにしてもらいたい。エコ（フリーエネルギーとか水浄化、放射能問題）と古き良き伝統で世界の人から来てもらい、鎌倉が人間生活の見本になるようにしてもらいたい。コンポストの助成金の次は、案について水浄化について考えてほしい。映画「ブルーゴールドー狙われた水の真実」にもあるように水問題になってくると思う。洗剤を使わず食器を洗える方法とか教えてくれる先生を呼んで住民に教えとかテモネスというところのマナウォーターの機械を使って家庭から出る水をきれいにして海へ戻すようにする、これをHPに載せて広める。英語でも。
5	市の将来の展望に立って具体的に政策、施策に生かしていただきたい。困難に粘り強く取り組んでほしい（寺の税金など）。はじめてお会いした人とうちとけて話げできた。
6	狭い道路に混雑した交通は、観光（客）を中心にした事項から生じている課題です。世界遺産が登録されると、これらの問題が（規制により）大きくなると予想されます。若者と高齢者にとって調和のとれた地域づくりを優先課題としていくことが重要です。解決されないと20年先でも変化のない鎌倉が存続していくでしょう！
7	1 防災計画を前提とした観光立地にする 2 税収増を考慮した観光対応をする 3 人（老人、若者）にやさしい行政を行う
8	係の方々大変ご苦勞様でございました。日々漫然と生活しておりましたが、改めて皆さんとディスカッションすることで、素晴らしい市の市民であることに気づかされました。孫子の代まで栄々として続くべく、微力を尽くしたいと思っております。市役所の皆様、よろしくお願いします！

9	観光による税収でお金をつくり、それを活用して文化遺産の保全に使用し、また観光客に来てもらってお金を落としてもらう。お金の良い循環でまちを潤す。まちを潤して生活環境の向上をめざす。若い年代も抵抗なく住めるまちに！若年人口がふえると税収もあがると思います。
10	日常考えていることを大勢の方と意見交換できて大変良かった。ぜひ続けて鎌倉という貴重な遺産のあるまち、次の世代住人が住みやすいよう願っています。
11	1 ラウンドごとの討議時間が短すぎる。もう少しポイントを絞ったカフェにしてほしい。 2 メンバーから提案事項を精査して、必ずフォローアップし、その結果を参加メンバーに伝えることを切望します。
12	たくさんの方のご意見から新しい具体的な活動やアイデアを伺うことができ、有意義な時間でした。
13	参加者の方ほとんど鎌倉に住む誇り喜びを感じています。20 年後の今のままの緑と自然が残せるように協力していきたいと思う。若い人を鎌倉に呼び込みたいと思う。
14	保育所入所・老人施設入所も待機者が多い。宅地は物納者が多いため、そこを上手に利用し安心安全の市で終居として利用できたら嬉しい。
15	・鎌倉市民は高学歴の人が多く、ワールドカフェの議論は、とても面白かったです。是非とも活用いただきたく広く市民にも共有してほしいです。 ・市長はもっと（橋本氏的に？）方向性を示しても良いと思います／「少なくとも HP には UP お願いします」
16	こうした機会は、他の人々が何を思っているのかを知ることができて、大変良いことだと思います。もう少し楽しめる内容だともっと良いと思います。運営をトーマツにやらせるのは、税金のムダでは？マーカーに「政策創造担当者」と貼ってあったが「貼る作業」は削減できるコストでは？こうした細かいムダ使いを徹底的になくしてほしい。 ・市民意識調査について そもそも比較不可能な質問。政策の視点ではなく、市民の視点から、行政サービスに対する満足度をはかるべき。平和と文化、どちらが重要かという質問は無意味で不適切。
17	現時点で厳しい財政をどのようにするかを検討で 20 年後を考えることは困難である。たとえ空想であっても。
18	大変有意義な機会を与えていただきありがとうございました。

19	市を経営、運営していくのは本当に大変ですが、市民と職員がビジネスという考えを持っていくことが大切だと思います。また 65 歳（？）以上の割引や無料入園などは、現在の申請制度から例えばカードなどの配布（事前）制度にするなど（全員が漏れなく受けられるように）、ビジネスとして考える部分と福利厚生の部分を分けて、それぞれに徹していくと良いと思いました。
20	ワールドカフェはとても良かったのですが、年齢層があまりにも高く、中・高校生・大学生等若い世代にも行ってほしい。先が長い方々に（成人式後等成人にも）この会をこのままにせず検討のうえ、生かしてほしい。
21	目的は何ですか、スタート目的説明してほしい。この集計結果は参加者に報告がありますか。
22	お世話になりました。基本計画策定において、頑張っていたきたいと思います。
23	このような市民の意見を生で聞ける機会は少ないと思います。良い企画とは思いますが、「やるだけ」「やっただけ」ではなく、どのような成果があって、何をどのように行っていくのかを『フィードバック』是非お願いします。あと弁当は、鎌倉の店のものにするべきでは？？鎌倉の活動は鎌倉で消費しないと活性化にならないように思います。
24	このような会は、はじめて参加させていただきましたが、いろいろな立場の方と意見交換ができて、「鎌倉」というものを改めて知ることでもできました。課題も分かってきたところです。鎌倉に移り住んで日が浅いのですが、より住みやすいまちになれば良いなと思いました。
25	明日への責任、明日の安心
26	・今回の”ワールドカフェ”の結果をどのように生かしていくのかをまとめて、知らせてもらいたい。 ・このような集りは多様な世代が集まれるよう（20代、30代等）工夫してもらいたい（抽選）。
27	年齢層高く、ワールドカフェのテーマとミスマッチ！各年齢別に人選が必要、本当の意見が出ていたか？
28	20 年後安心安全で自然歴史環境が素晴らしい鎌倉を願うため、次世代の育成、成長が不可欠です。保育・教育・地域づくり・雇用等社会参加づくりが大切。人口の3分の1が年少者の社会を実現したいですね。そのためにできること市民はやりますよ。よろしくどうぞ。ありがとうございました。
29	市の関係職員と市民との対話をもっともっと充実し、行政に反映してください。
30	財政困難の折から謝礼、お弁当は不要と思います。

31	アンケートの結果を市政に反映してください。日曜日の昼間は観光業者は参加しにくい。
32	ポスト世界遺産問題の検討
33	出会いは楽しいものでした。
34	住職が今日1人も出てこないのは（来られないの？）。対話が弾んだのにはビックリ！
35	①町内会長達とのワールドカフェはいかがですか？ ②ふせんは全てまとめて、一覧表でほしい（町内会で報告したい！） ③時間の進行、もう少し有効に、自己紹介と前のテーブルの報告で次のテーマの時間少ない ④昼食、休憩を少なくしてもよい
36	お弁当は鎌倉市内のお店に発注した方が良かった。大変有意義な取組でした。
37	多くの方の考え方、知らなかったことなどをお聞きすることができて同じ地域での仲間として大変良い勉強になりました。もっと年齢幅の広い方が多く参加されて、お互いに交流できれば良かったのではないかと思います。今後もこのような機会をお願いします。ありがとうございました。
38	若者が住みやすいまちにしてほしい。そのため保育所の整備や働く場の確保をしてほしい。また野村総研の場所は小さな事務所に割借してはどうでしょう・・・？
39	大変有意義な会合でした。
40	Ⅲの4、14、20、21、27 実現するための財政 財源の発掘が必要 時、物、金—一体とした考案の方法 PRE／事前 前払い PRESERVE＞RESERVE
41	1つ1つが重要な問題です。市民の安全を守るために、市民一人ひとりが充実した人生を歩めるよう働いてください。
42	①新しい手法を積極的に取り入れるのは大いに結構 ②運用を外注に依頼するのは最初だけであとは市役所自体で ③カラー印刷は必要ないのでは、もったいない
43	参加者とのコミュニケーションが進み、同様の課題を持っていることを知りました。心強く思いました。
44	今まで社会情勢に関心がなかったけど、このような場に参加させていただき大いに勉強になりました。
45	何をするにしても財政基盤をしっかりとすることがポイントとなる。
46	地域を大切にしたいと考えておられる方が多く、熱心なのに尊敬。活性化に取り組む具体的手段もあると思うので、是非生かしてほしい。

47	◎鎌倉で働ける環境（企業誘致 I T etc.） ◎観光立市 ◎自治会、町内会→市との協働
48	何故、外部コンサルティングを使用したのか？ トレーニングを受けた職員で行うべきだと思う（目標としているところへの到着地点が明確に伝わってこない・・・外部を使用すると） なぜ、お弁当を市外から購入したのか？（税収の問題）
49	自由連想のようなアプローチだったけれど、具体的にこういうものは難しいのかなと思った。ただ、出会いはありがたい。
50	細かな点にも経費削減を図ってください。 （１）ペンに「政策創造担当」と張ってありますが、不要です。貼る手間がかかります。 （２）配布資料はスライドのままですが、普通の文局形態に圧縮すれば、枚数は減り、カラーも不要です。 （３）外注する程度の規模でしょうか。市役所ご担当ですむのではないのでしょうか。
51	ああしたい、こうしたいとか 27 項目ありますが財源はどうでしょうか？



(添付資料)

当日投影用パワーポイント資料